

事 業 報 告

1 法人本部

令和6年度は、第六期中期基本計画（令和6～8年度）のスタート年として法人本部、障害、児童、高齢部門とも、計画に基づき着実に事業に取り組み、サービス利用者総数は前年度を若干上回った。

特徴的な事業としては、昨年度より引き続き、武蔵野福祉作業所の建替え関連及び障害者総合センターと特別養護老人ホームゆとりえの大規模修繕関連を中期財政計画に基づき、東京都及び武蔵野市と計画、実施に向けて工程や資金計画の協議を行った。職員採用においては、例年より退職者が減り、新卒者採用においては例年より難航したが、着実に経験のある即戦力の中途採用を行った。

また、東京都施策として居住支援特別手当が新たに対象となる職員に支給、さらに法人独自の制度として、奨学金返還支援制度もスタートし、育児介護休業等制度は法改正の内容よりも、各種適用範囲を拡大し、職員の待遇改善を行った。

1 法人全事業でサービスを提供した人、件数（延数/年間）				（前年度比）
障害者施設	施設サービス	107,258名	（前年度 107,961名）	703名減
	相談支援等	30,965件	（前年度 29,380件）	1,585件増
児童施設	施設サービス	10,301名	（前年度 10,264名）	37名増
	相談支援等	4,561件	（前年度 4,727件）	166件減
高齢者施設	施設サービス	26,561名	（前年度 27,321名）	760名減
	相談支援等	11,406件	（前年度 11,144件）	262件増
合 計	施設サービス	144,120名	（前年度 145,546名）	1,426名減
	相談支援等	46,932件	（前年度 45,251件）	1,681件増
	総計	191,052件	（前年度 190,797件）	255件増

2 理事等役員及び職員数及びボランティア数		（令和7年3月31日現在）
理 事	7名	正規職員 182名（前年度比 8名減）
評 議 員	9名	嘱託職員 38名（前年度比 0名増）
監 事	2名	臨時職員 126名（前年度比 3名増）
第三者委員	3名	職員合計 346名（前年度比 5名減）
ボランティア数		延 1,427名

3 苦情解決等	苦情受付件数	22件（障害者施設 18件 児童施設 2件 高齢者施設 2件）
	人権擁護虐待等受付件数	4件（障害者施設 4件 児童施設 0件 高齢者施設 0件）

4 職員採用、異動等（正規職員のみ）

- (1) 採用 9名（一般支援7名 看護師1名 その他1名）
 退職 9名（一般支援7名 看護師2名）*内、定年退職者2名
 (2) 人事異動 31名（昇任10名 配置転換等21名）

5 資格取得者数（令和7年3月31日現在 延数）

社会福祉士	87名	介護福祉士	81名	介護支援専門員	38名
精神保健福祉士	17名	看護師・保健師	24名	保育士	27名
理学療法士	3名	作業療法士	4名	言語聴覚士	3名
公認心理師（臨床）	7名	管理栄養士・栄養士	5名	初任者（実務者）研修	35名
サービス管理責任者	55名	相談支援従事者	32名	児童発達支援管理責任者	7名
喀痰吸引、胃ろう（経管栄養）	28名	実地研修修了者	28名	強行養成研修（基礎・実践）	112名

※資格取得支援制度による合格者2名（前年度11名）

6 理事会の開催

- (1) 第1回理事会 令和6年5月29日（水）対面・オンライン開催（出席者6名／7名中）
- ① 議案第1号 令和5年度事業報告について
 - ② 議案第2号 令和5年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表について
 - ③ 議案第3号 令和5年度決算附属明細書について
 - ④ 議案第4号 令和5年度財産目録について
 - ⑤ 議案第5号 定時評議員会の招集について
 - ⑥ 議案第6号 役員等賠償責任保険の契約について
 - ⑦ 報告事項 理事長の職務執行状況について/その他
- (2) 第2回理事会 令和6年11月19日（火）対面・オンライン開催（出席者7名／7名中）
- ① 議案第7号 職員給与規程の一部を改正する規程について
 - ② 議案第8号 臨時職員就業規則の一部を改正する規則について
 - ③ 議案第9号 再雇用職員就業規則の一部を改正する規則について
 - ④ 報告事項 障害者総合センター等の大規模修繕計画について
理事長の職務執行状況について
理事会及び評議員会の議事録の公開について/その他
- (3) 第3回理事会 令和7年3月14日（金） 対面・オンライン開催（出席者7名／7名中）
- ① 議案第10号 令和6年度収支補正予算（第1回）（案）について
 - ② 議案第11号 令和7年度事業計画（案）について
 - ③ 議案第12号 令和7年度収支予算（案）について
 - ④ 議案第13号 育児・介護休業等規程の一部を改正する規程について
 - ⑤ 議案第14号 施設長人事の同意について
 - ⑥ 報告事項 理事長の職務執行状況について
法人所有施設大規模修繕計画等について/その他

7 評議員会の開催

定時評議員会 令和6年6月24日（月） 対面・オンライン・書面開催（出席者9名／9名中）

- ① 議案第1号 令和5年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表について
- ② 議案第2号 令和5年度財産目録について
- ③ 報告事項 令和5年度事業報告について
第六期中期基本計画について
法人所有施設大規模修繕計画について
中期財政計画について
人材育成方針〔Ver. 2〕について/その他

8 内部監査 令和5年度事業及び会計監査

令和6年5月13(月)～17日(金)（安田大監事、西田恵子監事）

理事長、施設長、会計担当者からヒアリング、実地監査、書類審査等

外部監査 なし

9 各種会議・委員会・プロジェクトの開催

- (1) 経営企画会議 毎月2回開催 法人経営、施設運営に関する報告、検討、協議、決定等
- (2) 施設長会議 毎月2回開催 経営企画会議を受けて事業の報告、検討、協議、決定等

- (3) 中期計画進捗会議 毎月開催 第六期中期基本計画の進捗状況の確認。期中及び年度末に進捗状況の発表、質疑、ニュースレター発行
- (4) 苦情解決第三者委員会 利用者及び家族等の苦情解決に向けての協議、対応 R6. 6. 20 開催 22 件
- (5) 衛生委員会 毎月開催 職員の労働環境や健康、衛生に関する検討、実施 労災件数 11 件
- (6) 人権擁護虐待防止及び身体拘束等適正化委員会 利用者への虐待防止の取り組み R6. 11. 11 開催
- (7) 医療的ケア等に係る事故防止委員会 医療的ケア等の実施状況と対応策等検討 R6. 12. 26 開催
- (8) 情報セキュリティー委員会 個人情報保護、漏洩防止の検討、実施(施設長会議で毎月開催)
- (9) リスクマネジメント委員会 事故事例検討、再発防止対策等の協議(施設長会議で毎月開催)
- 安全運転業務 安全運転講習会は未実施、車両の運行管理、整備
- (10) 広報委員会 法人ホームページ運営(法人・施設の最新情報を毎月更新)法人インスタ開設
法人広報紙「ふれっそ」を年 3 回発行(第 63 号から 65 号)
法人内月報「武蔵野日記」を隔月発行(第 156 号から第 161 号)今年度で終了
武蔵野ポータルサイトの運用(法人内の連絡、情報、様式等の閲覧、共有)
- (11) 災害対策委員会 大規模災害等の BCP 作成、訓練、協議 職員参集基準変更
上級救命講習 R7. 3. 4 実施 23 名受講
感染症対策 罹患報告、状況確認、対応協議等(経営企画会議で)
- (12) 実践発表会 令和 6 年 11 月 29 日(金) 参加者 114 名
発表 4 事業所(りぷる、すばる、わくらす、ふれあい) 武蔵野市役所 811 会議室
- (13) 快適職場アクション 2024 誰でもどこでも相談室(毎月第三火曜日)相談者:精神保健福祉士(外部)
新任施設長、係長、主任面談、職場環境改善への取組等
ストレスチェックの実施(令和 6 年 7 月 16 日～31 日)産業医面談等実施
- (14) 職員確保プロジェクト 学校等へ広報活動、各種就職セミナー参加、人材紹介会社活用他
令和 6 年度採用内定式 令和 6 年 11 月 29 日(金) 先輩職員との懇談会等
- (15) 法人利用説明会 特別支援学校等卒業生の障害者施設利用に向けた説明会の実施
教員向け 5/10 保護者向け 5/20
- (16) 建替え・大規模修繕プロジェクト
- ・ 武蔵野福祉作業所 実施年: 令和 9～12 年度 仮設設計、新設検討 仮設地近隣説明会 2/23
 - ・ ゆとりえ改修工事 実施年: 令和 7～9 年度 改修箇所検討見積り協議、予算協議(武蔵野市)
 - ・ 障害者総合センター大規模修繕工事 実施年: 令和 8～10 年度 修繕箇所検討、予算協議(東京都及び武蔵野市)
- (17) 人事給与検討委員会 人事制度、給与制度の検討。他法人および他業種の実態調査他 毎月開催
- (18) 研修委員会 職員研修計画、企画、検討、実施運営 随時開催
- ①初級職員研修(対象: 1～3 年目職員)
- ・ 基礎研修①採用時新人職員研修(対象: 新人職員) 全 4 回 講師: (株)Co - Lab 目黒先生他
実施日 令和 6 年 4 月 1～3 日他 9 月実施 参加者 12 名
内 容 法人及び各事業所の概要と課題、支援・介護の基礎、各種規程等の講義
 - ・ 基礎研修④ 事業所見学② 半年後新人職員研修(対象: 新人職員) 参加者 7 名
実施日 令和 6 年 10 月 1 日(火)
内 容 社会人基礎力(段取り力等) 講師: (株)Co - Lab 目黒先生 事業所見学
 - ・ 基礎研修⑤ 半年後新人職員研修(対象: 新人職員) 参加者 10 名
実施日 令和 6 年 10 月 25 日(金)
内 容 武蔵野市の福祉、地域連携等 講師: 武蔵野市加藤センター長、國保センター長
 - ・ 現任研修①②(対象: 2 年目職員) 参加者 11 名
実施日 令和 6 年 9 月 10 日(金) 講師: (株)Co - Lab 目黒先生、研修委員

- 内 容 ①接遇Ⅱ（家族対応・クレーム対応） ②リスクマネジメント研修
- ・ 実践研修（対象：3年目職員） ※第3回目は2年目職員11名 視聴参加（視聴研修）
 - 実施日 第1回 令和6年10月17日 研修説明会 オンライン研修 参加者13名
 - 実施日 第2回 令和6年11月21日 構想発表グループワーク参加者13名
 - 実施日 第3回 令和7年1月22、24、27日 実践発表会 オンライン発表 発表者20名
 - 内 容 提案力・伝達力・育成力強化のための業務上の課題、取組、成果を各自発表
 - ②ファシリテーション研修（対象：3年目研修のファシリテーター職員への研修） 参加者8名
 - 実施日 令和6年9月10日（火）
 - 内 容 ファシリテーション基礎講座 講師：メンタルクリエイト 江口毅先生
 - ③チーム力アップ研修（対象：4年目職員） 参加者13名
 - 実施日 令和6年11月6日（金）
 - 内 容 組織のパフォーマンスを上げるためのコミュニケーション力の習得
講師：人材育成コンサルタント 三好良子先生
 - ④管理職研修
 - 1. 評価者研修 参加者30名（施設長、係長級職員）
 - 実施日 令和6年4月5日（金） 講師：メンタルクリエイト江口毅先生
 - 内 容 「100分de評価制度 2024」
 - 2. 労務管理研修 参加者18名（施設長のみ） 武蔵野市社会福祉法人連絡会議と合同開催
 - 実施日 令和7年1月23日（木） 講師：メンタルクリエイト江口毅先生
 - 内 容 「離職防止のポイント、働きたくなる魅力的な職場とは？」
 - ⑤ 個人情報保護研修 情報セキュリティハンドブックの読み合わせ、事例研鑽、全事業所実施
- 10 事業説明会 令和6年4月19日（金）（対面/オンライン/YouTube：参加者対象：全職員）
理事長講話、障害者福祉課長挨拶、今年度事業計画、事務連絡、新人職員紹介
- 11 地域交流 第22回むさしのあったかまつり 主催 運営
実施日 令和6年10月19日（土）場所：むさしのエコreゾート 参加者1200名
内 容 屋台、作品展示、ゲームコーナー、フリーマーケット他
武蔵野アール・ブリュット2024 実行委員会への参加
実施日 令和6年12月6日（金）～9日（月）場所：吉祥寺美術館
内 容 企画展への出展
- 12 その他
- (1) 会計相談 顧問公認会計士による月次会計実地監査及び会計相談等
 - (2) 労務相談 顧問社会保険労務士による労務管理相談及び人事給与制度、就業規則等の改正の相談等
外部カウンセラーによる職員健康相談、雇用相談
 - (3) 法務相談 顧問弁護士による困難案件対応相談及び各種法制度等改正に向けての相談



第15回実践発表会 令和6年11月29日

2 ワークセンター大地

1 事業運営

令和6年度は、4月に特別支援学校を卒業した1名が新たに入所し、登録利用者38名でスタートした。その後、1名が当法人の就労支援事業所へ移行し、同時期に、当法人からのサービス移行者が1名、さらに他事業所からのサービス移行者が1名、在宅生活をされていた方1名の新規利用が加わり、登録者数は最終的に40名となるなど、一定の変動があった。

新型コロナウイルス感染症への対策は継続しつつも、活動内容については、以前のように外向きの活動へと徐々に戻していったが、ご利用者の中には70歳代のご高齢の方や、心疾患など重症化リスクの高い方もいるため、登所時および昼の検温の継続、体調不良者が出た際の活動・ケア内容の見直しなど、感染対策は引き続き強化した。その結果、年間を通じてのご利用者の感染は4件にとどまりまった。

事業運営においては、引き続き受注作業を中心とした軽作業を軸とし、就労支援事業所からの作業依頼にも積極的に協力した。ニーズの高い運動を兼ねた作業として、ポスティングや公園清掃なども積極的に実施した。その他にも、小グループでの外出活動、喫茶、昼食外出など、ご利用者の意思や希望を尊重しながら、実現に向けて計画・実施した。

月に一度開催している「お楽しみ会」は、季節やイベントに関連した内容とし、創作活動やSNS体験、クイズ形式の学習なども取り入れ、恒例の活動し、また、ご利用者の興味や学習意欲に応える形で、「工賃・給料の説明」と題した学習会も実施した。次年度以降も、身近なテーマを取り上げた学習活動を継続していく予定です。

高齢化や障害の重度化に対応するため、必要に応じて通院の同行や医療機関との連携を図りながら支援を行い、今後もこのようなニーズは一定程度見込まれるため、相談支援事業所等との連携をさらに深め、よりよい支援につなげていきたい。家族会については、予定通り年3回、対面にて実施した。

2 利用者の状況と活動内容（令和7年3月31日現在、単位：人）

(1) 利用者数（定員40名）

	令和5年度末	入所	退所	令和6年度末
男性	26	2	0	28
女性	11	2	1	12
合計	37	4	1	40

(2) 障害者総合支援法による障害支援区分（平均 4.0）

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	0	7	24	8	1

(3) 年間利用状況

延べ人数年間合計 8,195 人（通所サービス日数 243 日） 1日平均 33.72 人（87.5%）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
708	707	655	723	661	644

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
751	688	678	640	640	700

(4)活動内容

グループ	作業活動	生活活動
サンカ	軽作業、受注作業（キャンプ道具や救急セットの封入）、和紙づくり、自主製品等の作業（押し花コースター、栞づくり、ビーズ）、チラシ配布、ポスティング、他	図書館活動、買い物、音楽鑑賞、一日外出、お楽しみ会、学習会
ナナカ ハッカ	受注活動（食品関係、封入封緘等、折り作業）、軽作業、紙作業、公園清掃、石拾い、ポスティング、チラシ折り、刺繍、他	スポーツ（ウォーキング、室内運動、市主催のスポーツ広場）、図書館活動、iki なまちかど保健室（音の WA ♪）の活動参加、一日外出、お楽しみ会、学習会

(5)工賃規定にもとづいて以下の工賃を支給した。

令和 6 年度工賃支給総額 1,884,460 円

3 地域関連機関や団体との連携

(1) 実習の受け入れ等

- ・ 特別支援学校生徒 5 名（14 日間）
- ・ 医学部実習 1 名、夏体験ボランティア 1 名

(2)iki なまちかど保健室（音の WA ♪）とのオンライン活動と手話ソング発表会の開催

(3)赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金 街頭活動への参加

4 職員研修

(1) 事業所内研修

権利擁護虐待防止研修／情報セキュリティ研修／感染症研修／防災合同研修／ケース検討会／BCP（事業継続計画）研修／生活介護施設で働くための基礎知識／強度行動障害のある方への支援／意思決定支援／合理的配慮

(2) 法人研修

中堅層リーダー層研修／実践発表会／他事業所体験研修（福祉作業所に 3 名 各 2 日間派遣）

(3) 外部研修

社会福祉施設長資格認定講習課程／強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）／東京都サービス管理責任者基礎研修／全国社会福祉協議会中堅職員研修／東京都サービス管理責任者実践研修 等

5 苦情受付件数 0 件

6 人権擁護虐待等受付件数 0 件

3 デイセンター山びこ

1 事業運営

今年度は新卒の新規利用者が2名加わり計44名でスタートし、その後年度内の入所、退所はなかった。なお欠席が多いご利用者3名への通所の働きかけを行い一部改善が見られた。

事業運営については、昨年来取り組んできた「日常活動の充実」をさらに推し進めた。特に毎週水曜日に設定している活動枠「クロスグループ（グループの垣根を超えた活動）」では、高齢化対策を念頭に外部講師による運動プログラムを開始したほか、音楽や創作をテーマにしたメニューの種類も充実させた。また市役所での販売や成蹊大学の学生ボランティア受入れ、同学内活動への利用者の参加、アールブリュット展への出展など、地域資源と連携した動きに力を入れた。

特別支援学校の学生の実習については、今年度は10名を受入れ、2025年度は5名の新卒者が入所。今後の受入れも見越し、年度末に不要物の廃棄、整理整頓、レイアウトの変更を同時に行い、有効スペースの拡大を図った。

2 利用者の状況と活動内容

（令和7年3月31日現在、単位：人）

（1）利用者数（定員40人）

	前年度末	入所	退所	年度末
男性	29	1	0	30
女性	13	1	0	14
合計	42	2	0	44

（2）障害者総合支援法による障害支援区分（平均4.8）

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	0	1	16	20	7

（3）年間利用状況

延べ人数 年間合計 9151人（通所サービス日数 243日） 1日平均 37.6人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
807	824	772	824	763	678	883	767	719	698	667	749

（4）活動について

《基本活動》 5グループにより、メイン活動（織物、缶回収、地域活動、創作活動、健康など）を中心に活動を提供した。「日常活動（仕事や健康維持がテーマのグループ活動）」の充実を推し進めるとともに、「フリーデイ（自分のやりたいこと（意志決定）を実現）」を半期に1回ペースで再開した。また、普段行っているひとつひとつの活動の目的や意味、前後関係について、利用者にとっての「見える化」につながる取り組みを強化した。

《各種イベント等》

成蹊大学のボランティア支援センター企画での学生ボラ受入れ、サステナビリティ教育研究センター主催活動への参加、ごみ総合対策課のリサイクル啓発イベントへの協力、武蔵野アールブリュットへの出展、市役所での販売活動等。

(5)その他の活動

①保健・給食

- ・健康管理として、健康診断（2回）
- ・給食について、栄養士とも連携し、利用者の状況に合わせた給食を提供した。
- ・職場内研修として、感染症予防研修と対応研修を行い実践した。

②防災（避難）訓練

実際に避難する訓練の計2回実施した。

③家族関連

家族会は5、9、1月の計3回、集合形式で開催し各回約20名が参加した。

個別面談はご利用者の誕生日前後に日程を定め、年間を通して実施した。

④広報

広報紙「やーっ報」を年2回発行した。

⑤工賃の支給について

事業所の支給規定により毎月工賃計算を行い、半年ごと(年2回)全ての利用者に支給した。1年間の支払い総額は1,310,450円であった。

3 地域関連機関や団体との連携

(1) 実習の受け入れ、

- ・特別支援学校 10名
- ・社会福祉士実習生、福祉・医療系大学生等 4名

(2)活動における地域資源の活用

(成蹊学園) ボランティア参加啓発企画での学生受け入れ、けやき循環プロジェクトへの参加、櫛祭(学園祭)への出店(利用者参加)、サステイナビリティ教育研究センターとの交流イベント、同センター主催の学内イベントの表彰メダルの制作等

(市役所)・市役所正面玄関で小さな輪っか展を2回開催
・ごみ総合対策課イベントへの商品提供(有償)

(その他)・京王閣競輪：つむぐと出店
・武蔵野アールブリュット展：利用者共同作品の設営、出展
・クリーンむさしの：ぼかし納品

4 職員研修

①職場内部研修・3事業所合同研修

権利擁護虐待防止研修／情報セキュリティ研修／音楽療法
感染症研修／強度行動障害研修 等

②法人研修

2、3年目職員研修／実践発表会／評価者研修 等

③外部研修

東京都障害者通所活動施設職員研修／強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)

5 苦情受付件数 1件

6 人権擁護虐待等受付件数 1件

4 デイセンターふれあい

1 事業運営

令和6年度は21名から始まったが1月に1名、2月に1名が退所されたため、年度末は19名の在籍となっている。年間の稼働率は昨年度とほぼ同様であった。

感染症対策を引き続き講じながら、半日・1日外出や地域交流の機会を設定した。定期的な音楽の生演奏だけでなく、行事やイベント等でボランティアによる演奏や朗読会等を行った。

プロジェクトとして、今年度から医ケア連携プロジェクトを立ち上げ、看護師と支援員との更なる連携・協働を進めた。全正規職員は喀痰吸引研修を受講、実地研修をさらに進め、支援員が担える医ケアが増えた。正規職員以外の職員も医ケアの周辺業務を担うことで理解を深めた。また、要望があった給食（ペースト食）の注入を一定の手続きを経て開始した。

正規職員は他法人・他事業所の実習で知見を広め、全職員対象に安全・快適な介助のために毎月テーマを決めて基本を学ぶ「介助の確認」を、支援について振り返りディスカッションする機会を設け、支援の質の向上に努めた。

2 利用者の状況と支援内容

（令和7年3月31日現在 単位：人）

（1）利用者数（定員 20名）

	前年度末	入所	退所	年度末
男性	10	0	0	10
女性	11	0	2	9
合計	21	0	2	19

（2）障害者総合支援法による障害支援区分の数（平均 5.6）

区分	1	2	3	4	5	6
	0	0	0	1	5	13

（3）年間利用状況

延べ人数 3604 人（通所サービス日数 243 日）

1日平均 14.8 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	340	334	311	309	294	278	292	300	305	297	248	296

（4）活動について

①感染対策を講じながら、1日外出や地域交流

②作品販売：マジエルカ・あめつち（セレクトショップ）での委託販売、武蔵野東学園祭・むさしのあったかまつり・タワーズマルシェ・エコマルシェ・クラフト展・輪っかになろう展・小さな輪っか展・成蹊大学の学園祭等での販売を行った。

作品の1年分の売り上げから材料費・運営費（40%）を控除した上で、作品制作に関わった利用者に配分金（工賃）として9月と翌年4月に配分した。 合計 307,400 円

③作品展示：中央コミセン、武蔵野文化芸術協会の美術展、アールブリュット（吉祥寺美術館）、クリーンセンター展示等を行った。

④季節行事：夏まつり、クリスマス会、新年会を祝う会を、感染症対策を講じて開催した。

3 地域関連機関や団体との連携等

(1) 実習の受け入れ

- ・特別支援学校生徒 1名
- ・社会福祉士実習生 2名
- ・介護体験 4名
- ・慈恵医大 2名

4 職員研修

(1) プロジェクトチーム

DCF(創作活動)、医ケア連携の二つのグループにより、支援や介護の内容及質の向上を目指して取り組んだ。

(2) 法人研修及・職場研修・外部研修

意思決定支援勉強会、感染症対策研修、ケース検討会議、ハラスメント研修、情報セキュリティ研修、権利擁護虐待防止研修、医療的ケア看護師講習会、成年後見制度研修、サービス管理責任者実践研修、東京都障害者通所活動施設職員研修、喀痰吸引(3号者)研修、強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)

他事業所実習：訪問の家 朋、工房集、Life Design あくと、Life Design つむぎ

5 苦情受付件数 0件

6 人権擁護虐待等受付件数 1件

7 その他

(1) 保健・給食

- ① 機能訓練・理学療法士(週1回)の助言を受け、機能訓練の実施
- ② 健康管理・健康診断(2回)
- ③ 摂食・ペースト状特別食等、摂食しやすいような配慮

(2) 防災(避難)訓練

年2回実施、「防災」をテーマにした活動でも避難訓練を行った。

(3) 家族関連

家族会は4月24日、7月25日、11月20日の年3回、集合形式で実施した。

また、年度末に支援計画をもとにした個別面談を実施し、ご本人やご家族と1年間の振り返りを行い、ご要望等も踏まえて次年度計画を作成するための話し合いを行った。

(4) 広報誌

ふれあいの活動をご家族や関係者にお伝えするために、広報誌「日々是充実」を年2回発行した。

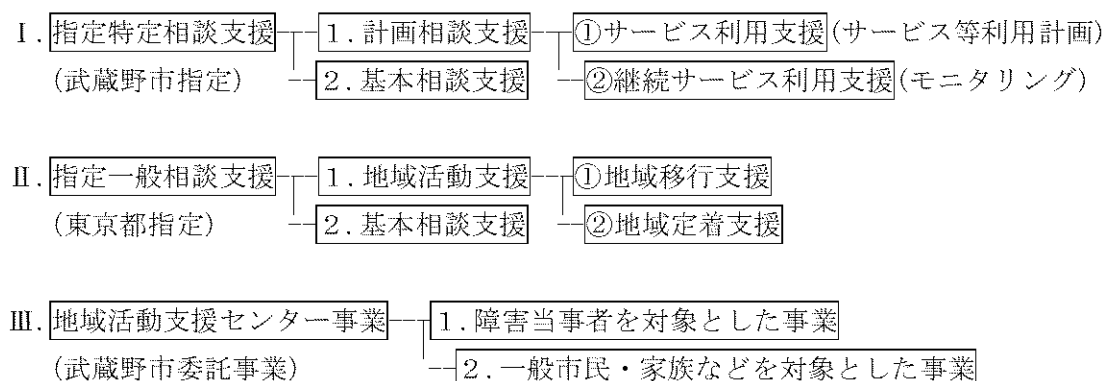
5 地域生活支援センターびーと

1 事業運営

令和6年度は、

1. 基幹相談支援センターや市内・法人内相談支援事業所、地域活動支援センター等とのネットワーク強化
 2. 相談支援専門員としての人材の育成やスキルアップ
 3. 新型コロナ等の感染症にも対応したプログラム活動の実施
- の3点を重点項目として事業の展開を図った。

～びーと事業の体系～



2 利用者の状況と活動内容

(1) 相談支援の集計 (地域活動支援センター事業と相談支援事業の相談支援件数)

- ① 相談支援の傾向 (地域活動支援センター事業、指定特定・指定一般相談支援事業)
感染対策の緩和が進み、昨年度以上に件数は増加した。

- ② 相談受付総数と内訳

総相談受付件数：20,829件 (年間延べ合計)

※地域活動支援センター19,893件 + 指定特定相談支援事業936件 (請求件数)

新規相談者件数：38人 ※地域活動支援センター事業14人・計画相談24人 (重複含む)

相談実人員数 (障害種別と月別の相談者人数)

単位:人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
身体	24	26	29	29	34	39	28	27	32	29	29	30	29.667
重心	3	3	4	3	2	3	2	1	2	3	1	3	2.5
知的	248	245	247	254	258	267	257	256	257	256	239	270	254.5
精神	8	6	10	8	7	7	5	7	6	8	6	6	7
発達	3	4	3	4	5	3	4	5	5	4	4	6	4.1667
高次脳	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	2	1.4167
重複	17	15	15	19	20	19	19	18	15	16	17	19	17.417
他	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1.1667
合計	307	301	311	320	328	340	318	316	319	318	299	337	

③ 相談者内訳 (合計値: 19,893 件)

区 分	件数	区 分	件数
福祉サービス利用	8065	家計・経済	80
障害・病状の理解	565	生活技術	292
健康・医療	1728	就労	204
不安解消・情緒安定	3316	社会参加・余暇活動	4660
保育・教育	63	権利擁護	215
家族・人間関係	198	その他	507

(2) 地域活動支援センター事業～順不同～

(単位:人)

区分	手芸	パソコン (グループ)	パソコン (個別)	道場	上映会	体験塾	食育 くらぶ	
人数	181	48	187	144	96	55	10	
区分	ダンス	ヨガ	ニュースポーツ	びあ クラブ	スイーツ 女子会	おしゃべり 喫茶	あったか 有志	合計
人数	158	207	30	28	12	26	16	1198

※その他、フリースペース:1951 件、地域生活支援拠点等事業:238 件、あったかまつり関連業務:237 件、自立支援協議会:40 件、そうだネむさしの:79 件、大野田福祉の会交流広場:85 件

【活動内容】～順不同～ 新型コロナウイルス等の感染症対策を講じ、運営上配慮し開催

- 北町道場…創作活動や軽運動などを行いながら、参加者同士の交流をはかる
- ダンス倶楽部…障害者スポーツ指導員を講師に迎え、ダンスに楽しく取り組む
- パソコン教室…パソコンの初歩的な学習教室。個別とグループの2つの形態により開催
- びあクラブ…ニュースポーツ、ウォーキング、発表会など少し大きな単位で土曜日に開催
- 北町上映会…動画を鑑賞しながら参加者同士交流
- 手芸教室…参加者個々が思い思いの作品作りに挑戦する趣味活動支援
- ヨガクラブ…インストラクターを講師に迎え、ヨガを楽しく体験
- くらし体験塾…調理、感染対策講座、話し合いというテーマを取上げ生活力をつける
- 女子会…女性登録者を対象に、活動を通じて女性同士の交流をはかる
- 当事者学習会…サマーセミナーと称して生活力を向上させる当事者対象の生活学習会
- 北町食育くらぶ…食をテーマにした学びの機会を提供する活動
- おしゃべり喫茶…平日夕方に集まる当事者のつどい
- 公開セミナー…「知的障害者の服薬の向き合い方」をテーマにした市民向け講演会
- 見学対応…利用に向けた検討の一環や学習のための施設見学等の支援
- サポータークラブ…学生や一般市民によるびーと活動へのボランティア参加
- 市民向け事業…フリースペースの運営や福祉情報の提供など一般市民向け事業
- 大野田福祉の会…障害者総合センター地区の福祉の会への参加・活動支援
- 市民団体への協力…市民の会や当事者・家族の集まりなどに対する協力

- 基本相談…生活上の悩みなどの様々な相談に応じる(計画相談とは異なる相談支援事業)
 - 相談支援ネットワークむさしの…市内相談支援事業者等のネットワーク連絡会
- <休止した活動>
- みんなのキッチン…調理体験と会食を通して参加者同士の交流を促進
 - 集まろう会… 一般企業等就労者対象の当事者活動

(3) 月別の相談・来所者集計

地域活動支援センター事業関係の1日当たりの相談と地活事業参加者の月別平均来館者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	17.8	17.0	17.2	15.3	15.7	19.1	17.3	16.1	20.6	18.5	20.6	18.2

※フリースペースの利用や地活プログラムでの来館者数を月の稼働日で算出

新たな活動の企画や、感染対策の緩和により上限数を拡大したことで、月ごとの来館者数が増加した。

3 地域関連機関や団体との連携

(1) 市地域自立支援協議会(2年任期の2年目の年度)

自立支援協議会の「親会議」委員として、相談支援事業所の代表者区分で副施設長が出席。会長からの指名を受けて、副会長の職を担っている。

また、親会議では昨年度策定した計画の進捗状況等も合わせて確認。

住まい部会、地域移行部会には職員を各1名ずつ派遣した。

(2) 市民・関係機関支援者等向け及び、当事者に向けた公開セミナー(学習会企画)

○市民・関係機関支援者等向け公開セミナー

開催日：令和6年12月2日(月) 午後6時から午後8時

テーマ：「知的障害のある方の服薬の向き合い方について」
～地域生活を支えるために必要な支援を考える～

講師：橋本大彦院長(橋本クリニック)

内容：医療機関や薬との向き合い方などについて、実際の診療経験をもとに、具体的な事例を挙げてご講演いただいた。

会場：武蔵野市役所西棟811会議室

参加者：78名

○当事者向けサマーセミナー(学習会)

開催日：令和6年12月14日(土) 午後1時15分から午後3時30分

※当初8月30日に予定していたが、台風のため再調整し実施

テーマ：「自宅で出来るセルフケアを学ぼう」～ワークショップを通じて
3R(リカバリー、リフレッシュ、リラックス)を体験しよう!～

講師：山本真史氏(えへとす本部長)：フェイシャルケア

中島智記柔道整復師：ボディケア

小野寺知恵氏、内藤由紀子氏(リタクル合同会社)：ネイルケア

内容：体験型のワークショップを通して、自分自身の身体に向き合い、心地よく毎日の生活を送るためのセルフケアについて、正しく楽しく体験を通して学んだ。

会場：武蔵野障害者総合センター 地下会議室

参加者：びーと登録障害当事者 19 名

4 職員研修（主なものを抜粋して記載）

区分	開催研修テーマ	概要やテーマ等	主催
相談 支援	相談支援従事者研修	相談支援員専門員主任研修	東京都相談支援ネット
	障害福祉サービス報酬改定	相談支援の現状と課題	東京都相談支援ネット
	東京都相談支援従事者研修	相談専門員「初任・現任」研修	東京都福祉保健局
	相談支援力向上研修	困難事例検討会	おとな TOSCA
専門 分野	強度行動障害支援者養成研修	強度行動障害基礎・実践	東京都保健福祉財団
	ピアカウンセリング勉強会	先進事例から学ぶピアカン	ライフサポート MEW
	上級救命講座	救命講習上級新規講習	保健福祉センター
	高齢・障害虐待研修	虐待防止研修（虐待防止理解）	多摩精神保健福祉センター
知識	おとなの発達障害研修	発達障害の基礎的知識と支援	多摩精神保健福祉センター
	精神保健福祉研修	精神科領域の疾患の理解	多摩精神保健福祉センター
	ダウン症セミナー	成年・成人期の支援	日本ダウン症協会
	精神保健福祉研修	レジリエンス～立ち直る力～	武蔵野市基幹相談支援センター
運営	法人階層別研修	福祉職員キャリアパス管理職員研修	東京都社会福祉協議会
	法人職員研修	ハラスメント研修	社会福祉法人武蔵野
	情報セキュリティ研修	個人情報等の扱いに関する内容	びーと内部研修
	法人評価者・被評価者研修	職員人事評価者・被評価者研修	社福武蔵野

※・上記の他に法人組織職員研修や事業所内の支援会議などを通じて専門性の向上をはかった。

・受講した職員より報告を行い、研修内容を職員会議で報告し全体で共有している。

5 苦情受付件数 2 件

6 人権擁護虐待等受付件数 0 件

6 ワークセンターけやき

1 事業運営

事業理念「仕事を通してつながりをひろげ、自分らしく成長していく」に基づき、雇用契約を結んで仕事をしたい方から、社会人としてのマナーや働く習慣を身につけたい方まで、幅広い就労ニーズに応えるべく、より上質な就労機会の確保と個別支援の充実に事業運営を行った。具体的には、特別支援学校の生徒に対して夏休み・春休み期間の体験実習の受入れ、就労移行支援事業所や障害者就労支援センターからの幅広い年齢層の実習希望者の受入れを通し、下記の事業での就労機会を提供した他、在籍するご利用者の支援ニーズに応じて就労移行や生活介護への段階的移行などを支援した。

(1) 就労継続支援 A 型（定員 10 名）年度当初利用者 3 名

働く力を有しながらも企業就労の機会が得られない方に対して、印刷部門（西久保オフィス）および食堂部門（市役所 8 階さくらごはん）で雇用契約を結び、合理的配慮に基づいた労働環境を提供した。

(2) 就労継続支援 B 型（定員 30 名）年度当初利用者 3 4 名

封入等軽作業や天然酵母パンの製造、販売、喫茶パールブーケ（障害者総合センター）およびカフェルブレ（市役所 8 階）の運営を行い、合理的配慮に基づいた作業環境を提供した。

2 利用者の状況と支援内容

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数(日)	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
A 型 (回)	54	58	53	57	50	49	57	54	54	48	45	51	630
B 型 (回)	528	547	532	590	503	507	562	512	542	506	475	518	6,322
計 (回)	582	605	585	647	553	556	619	566	596	554	520	569	6,952

(1) サービス利用契約の状況

利用開始 3 名、終了 4 名（他サービスへの移行等）により、1 名減（33 名）となった。

(2) サービス提供時間

① 就労継続支援 A 型 … 9:00～16:00、週 5 日の勤務時間内で、精神障害のある方の短時間雇用も含み、利用者に応じて柔軟に設定した。

② 就労継続支援 B 型 … 8:00～16:00 の作業時間内で、利用者に応じて柔軟に設定した。

(3) 就労支援事業について

① 印刷・サイン （就労継続 A 型） 30,798,765 円

② 封入等軽作業 （就労継続 B 型） 24,965,452 円（うち図書館委託業務 4,099,480 円）

③ 喫茶ベーカリー （就労継続 B 型） 25,117,288 円

④ 食堂 （就労継続 A 型） 16,338,330 円 合計 97,219,835 円

前年度比は①△8.0%、②+26.9%、③+5.7%、④+14.7%、全体+6.7%と印刷事業以外は売上を伸ばしている（印刷事業は発注自体の減少が続いており、近年の売上高は依然下降傾向にある）。しかし物価高や原材料費の高騰により収支は厳しい状況となっている。

(4) 個別支援計画の策定

半期毎（年２回）に利用者個別面談を行い、モニタリングと個別支援計画の策定を行った。

(5) 関係機関との連携による生活支援の取り組み

主にグループホームや独居の利用者に対し、生活上必要な支援を各関係機関（行政・相談支援機関等）と連携して取り組み、利用者の円滑な地域生活や就業生活の維持に努めた。

(6) 余暇活動支援

年末営業最終日に利用者交流会（希望者のみ）を実施した。

(7) 学習活動支援

社会生活力の向上をテーマにグループ学習活動を行った。また法人内就労支援事業所合同でコミュニケーション方法等を学ぶ機会として社会生活プログラムを年２回実施した。

(8) 保健衛生

定期健康診断、内科検診等を実施した。

3 地域関連機関や団体との連携

食堂・レストラン部門では市のエコポイント事業や健康づくり事業団、市民社協と連携した（ポイント利用等）ほか、福祉教育の一環として市内小学校の見学の受入れや市内団体への学習会の講師派遣等を実施した。また市内の映画館との新規取引や、近隣七市の合同イベント（京王閣競輪）に初出店した他、特別支援学校の夏祭りや桜まつりにも参加した。

4 職員研修

(1) 事業所内全体研修（シフト勤務の職員がいるため、同内容で複数回実施）

① 6/26(水)、27(木) 法人理念、年間方針・重点目標、BCP（周知）、虐待防止・権利擁護、情報セキュリティ、令和５年度決算・令和６年度予算他

② 11/1（金）、7（木）、12（火）、14(木)、15(金)、22(金)、感染症対策・嘔吐物処理の仕方

(2) 法人就労支援領域合同研修（けやき、いんくる、武蔵野福祉作業所、りぷる）

アセスメントの視点と方法論を学ぶ（講師：高原 浩氏 1/14(火)実施、1～3 月 録画配信）

(3) 個別研修

社会福祉士実習指導者講習会（1 名）、独法高齢障害求職者支援機構 就業支援実践研修（1 名）、日本財団 就労支援フォーラム NIPPON（2 名）、武蔵野市就労支援ネットワーク企業見学会（3 名）、東京都 工賃アップセミナー（2 名）他

5 苦情受付件数 0 件

6 人権擁護虐待等受付件数 0 件

7 その他

(1) 利用者・家族向け広報「けやきだより」発行（年３回）

(2) 防災訓練実施（年２回）

7 ジョブアシストいんくる

1 事業運営について

ジョブアシストいんくるは、就職を志す障害のある人を支え、企業就労を実現し、継続するための支援を行ってきた。令和5年度から法定雇用率が段階的に引き上げられていることから、企業の採用活動は年々活発化する傾向にあり、令和6年度は17名の就職者を輩出した。今後も事業所の理念である「自分らしくはたらくを応援する」をベースに、ご利用者の意向や職業上のお力と企業の求める人材とのマッチングを大切にする支援を展開していきたい。

2 ご利用者の状況と活動（支援）内容

(1) 就労移行支援

① ご利用者の状況

令和6年度末登録者数（直Bアセスメント利用者7名を除く）（単位：人）

事業名（定員）	令和5年度末	新規利用開始	年度内利用終了	令和6年度末
就労移行 (20)	27	11	21 (内17名就職)	17

年齢別ご利用者数（平均年齢34.0歳） 利用終了時もしくは年度末時点（単位：人）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	合計
男性	0	14	8	4	2	0	0	28
女性	0	5	3	1	1	0	0	10
合計	0	19	11	5	3	0	0	38

障害・度数別ご利用者数 利用終了時もしくは年度末時点（単位：人）

級/度	身体	知的	精神	なし	計
1	2	0	0		
2	0	0	5		
3	0	1	12		
4	0	17			
5	0				
6	0				
なし				1	
計	2	18	17	1	38

- 令和6年度の1年間で11人が新たに利用を開始している。令和4年度より4名減った。例年同様、新規ご利用者のほとんどは、各地域の就労支援センターや相談支援事業所などの関係機関から紹介を受けている。
- 平均ご利用者数は16.0人と昨年度(21.3人)と比べて減少している。就職者を多数輩出したことにより、利用される方が減ったことによる。
- 令和6年度ご利用者は累計で38名になり、平均年齢は35.4歳であった（利用終了時、年度末に利用継続の場合は年度末時点）。
- 令和5年度は愛の手帳をお持ちの方の利用が増えたが、令和6年度は精神保健福祉手帳をお持ちの方が増え、愛の手帳の方と精神保健福祉手帳の方の割合が半数ずつとなった。

② 就職者の状況

令和6年度 就職者の状況

(単位：人)

手帳種別	人数	業務内容	人数	就業場所	人数
精神	8	事務系	5	市内近隣	3
知的	8	事務補助系	6	都心部	8
身体	1	作業系	3	多摩地域	2
なし	0	店舗系	0	区部西部	3
計	17	厨房系	0	都外	1
(うち発達障害は7名)		清掃系	3	計	17
		計	17		

- 令和6年度は17名が企業等に就職した。
- 手帳種別では愛の手帳所持者が8名、精神保健福祉手帳所持者が8名、身体障害者福祉手帳所持者が1名。また、全体のうち7名が発達障害の診断、もしくは傾向があるとされている方である。
- 就職先の業務内容は事務系(事務補助含む)が11名、作業系(清掃・店舗運営など)が6名。
- 就業地域は市内近隣が3名、多摩地区が2名、23区が11名、都外(埼玉県)が1名。
- 今年度就職者の就職先は以下の通り。

(株)ユニマットライフ、NECフレンドリースタッフ(株)、(株)インテージ・アソシエイツ、(株)MCCソレイユ、アブラックハートフルサービス(株)、レバレージーズ(株)、(株)スタートライン、(株)ラスクみらい、日本トムソン(株)、(社)武蔵野、(株)ジェイ・アイハートサービス、(株)ワークポート、シダックスオフィスサポート(株)、東京海上ビジネスサポート(株)、フジフーズ(株)、中央労働金庫

開設以来(11年10カ月)では122人が就職し、36人が離職に至っている。

③ 活動内容

就労トレーニング・就活プログラム・パーソナルアシストを個人別利用カリキュラムにより実施した。また、個別に選択や組み合わせのアレンジを行うにあたり、ご利用者の理解を助けるために、個別面談やプログラム見学などを行った。

- 就労トレーニング(作業)
 - ・「封入等作業」を基本作業としつつも、適性に合わせて幅広い作業種に携わる機会を関係機関と連携して提供した。(主な作業内容：封入封緘作業、清掃業務、図書館受託作業、厨房調理補助作業)
 - ・企業体験実習：民間企業の協力で職場の見学・体験など施設外支援を多数実施した。また、東京しごと財団や東京労働局主催の企業体験実習も積極的に利用し、企業実習の機会を数多く提供した。
- 就活プログラム
 - ビジネススキルアップ(ビジネスマナー)、パソコン講座、オフィスワーク(事務スキル)、メモのとり方、セルフラーニング(自習機会)など就職活動に必要な知識、技術獲得の機会や、グループワーク、JSTなどご利用者同士でのコミュニケーションスキルの向上を図る機会を幅広いご利用者層に合わせて多層的に設定し実施した。
- 就職準備(企業就労への支援)
 - ・履歴書作成や面接訓練などを、原則個別対応できめ細かく実施し効果を上げた。
 - ・求職活動や就職面接、実習、トライアル雇用に同行し、就職活動を支援した。

④ 活動時間

月曜日から金曜日、8:30~17:00の間で、各人の状況やプログラムの選択に合わせて柔軟な時間設定と利用日でカリキュラムを作成した。

⑤ 利用契約と個別支援計画

利用契約を結び、個別面談を月 2 回以上実施し、本人の意向に沿って個別支援計画を策定し、3 か月ごとにモニタリングを行った。

⑥ 訓練手当について

就職に向けてのプログラムとしての意義から、作業実習に関わる時間については、東京都最低賃金の 3 分の 1 相当額を訓練手当として支給した。(年間平均で時間あたり 360 円を支給)

⑦ 就職後の定着支援

就職者については、半年を目安に定期訪問や面談などの定着支援を行った後、就労定着支援事業(後述(2))の利用か各地域の就労支援機関への移管を選択していただいた。

(2) 就労定着支援事業

① ご利用者の状況

令和 6 年度末登録者数

(単位：人)

事業名	令和 5 年度末	新規利用開始	年度内利用終了	令和 6 年度末
就労定着	20	9	8	21

- 就職後 6 ヶ月を経過しての登録になるため、順次契約を進め、9 名が新規利用開始となった。新規利用開始数としては令和 5 年度と同じ。
- 年度内終了者は 8 名。内 4 名は就職から 3 年 6 ヶ月が経過し、サービス利用期限満了を迎えた方で、終了後は住所地にある就労支援センター等関係機関に定着支援を引き継いでいる。1 名は自己負担金発生に伴い、住所地にある就労支援センターへの引き継ぎを希望された。3 名は年度内に退職。

② 支援内容

- 毎月最低 1 回は就職者の方との面談を実施するのを基本に、必要に応じて職場訪問や通院同行、関係機関との連絡調整などを実施し、企業就労の継続を図った。
- 令和 6 年度もコロナ禍で実施してきたオンラインによる面談や関係者会議のニーズがあり、就職先等で日常的にオンラインシステムを利用しているご利用者や企業の方を中心にオンライン面談や打ち合わせ等を実施した。
- 就職者同士の交流機会である「就職者の会」は、令和 7 年 2 月、感染対策を十分に行った上で飲食店にて食事会を実施。20 名の参加があり、食事をしながら自身の近況などを話し、交流を深めた。

(3) 生活困窮者就労準備支援事業・被保護者就労準備支援事業

① ご利用者の状況

事業名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
生活困窮者・被保護者就労準備	9	12	12	13

令和 6 年度も昨年度と同じく、疾病等により離職し、就職活動のサポートが必要となったケースや、新型コロナウイルス感染症の影響で就労日数・時間が減少したことにより、経済的に困窮されるケース、就労経験がほとんどなく、働くことの経験をしたいというニーズのある若者のケースなど、様々なケースの対応を行った。

② 活動内容

従来から行っている「就活カフェ」や個別の相談による支援を中心にしながらも、継続的にコミュニケーションプログラムや PC 講座、軽作業練習などのプログラムに参加する方も増えてきている。

③ 事業受託の終了

武蔵野市の事業再編に伴い、本事業は令和 7 年 3 月末を以って受託を終了した。

3 地域関連機関や団体との連携

就労移行・就労定着支援事業ではご利用者居住自治体の障害者福祉課や計画相談事業所、市区町村就労支援センター、生活困窮者・被保護者就労準備支援事業では武蔵野市生活福祉課や武蔵野市福祉公社と緊密に連携して支援を進めている。その他の支援機関は以下の通り。

(1) ハローワーク

- 三鷹、新宿、立川など、ご利用者の居住地を管轄する都内ハローワークは、求職登録をはじめ、面接会等新規求人情報の共有や障害者委託訓練の申込など、ご利用者の就職活動に必要な連携を実施している。
- ご利用者と企業のマッチングを向上させるための取り組みとして、ご利用者に居住地を管轄するハローワークのトータルサポーターと定期的に面談する機会を用意し、ご利用者のニーズや状況等を知っていただいた上で、ニーズに合い、力を発揮できそうな求人を紹介していただけるよう連携し、就職に結びつけている。
- 生活困窮者就労準備支援事業においては、自立支援調整会議等でのケースカンファレンスを通じてハローワーク三鷹の担当者と支援状況を共有し、支援上の役割分担をするなど必要な連携をしている。

(2) 東京障害者職業センター

就職者の職場適応を支援するジョブコーチの派遣等を通じ、支援の進め方などを協議しながら協働で支援を進めている。

4 職員研修

就労支援をはじめ、支援技術全般の向上のため、以下の研修に職員を派遣した。

- 就業支援基礎研修
- 職場適応援助者支援スキル向上研修
- 生活困窮者支援事業実施者向け研修 他

5 苦情受付件数 0 件

6 人権擁護虐待等受付件数 0 件

8 武蔵野市障害者就労支援センターあいる

1 事業運営

武蔵野市障害者就労支援センターは、「武蔵野市障害者等就労支援事業実施要綱」に基づき、障害者及び障害児（以下「障害者等」という）が安心して働き続けることができるよう、身近な地域においてその就労面及び生活面の支援を一体的に提供することにより、障害者等の一般就労の促進を図り、以って障害者等の自立及び社会参加の一層の促進を資することを目的に事業を実施している。令和6年度で登録者は450名を超えた。障害とニーズの多様化をはじめ、今後予定されている就労選択支援サービスの開始、雇用率の改定など、障害者雇用を取り巻く状況は大きく変化しているのに合わせ、市内や周辺地域の就労移行支援・就労継続支援事業所、ハローワークや学校等の関係機関とネットワークを形成し、より良い支援の提供を目指して連携しながら事業に取り組んだ。

2 利用者の状況と支援内容

(1) 登録者の状況

① 登録者全体の状況（全452名の内訳）

手帳別人数		年代別人数		状況別人数	
手帳種別	人数	年代別	人数	状況	人数
身体障害	27	18～20歳	23	在職	318
知的障害	152	21～29歳	90	求職(在宅)	40
精神障害	238	30～39歳	107	求職(施設)	58
重複	22	40～49歳	112	その他	36
なし	13	50～59歳	93	計	452
計	452	60歳以上	27		
		計	452		

- 手帳別人数の「重複」は2種類以上の手帳を所持する方の人数。
- 精神障害者福祉手帳所持者が登録者の過半数を占める。
- 40歳以上の登録者が半数以上で、登録者の約1/4は50歳以上である。
- 登録者の7割以上が在職者である。

② 新規登録者の状況

- 新規登録者数は46名で昨年度とほぼ同水準。手帳種別では精神障害者福祉手帳が22名で最多。同傾向が続いている。
- 状況別では在職中の方が31名で最も多く、全体の2/3を占めた。このうち4件は休職中の方の復職希望で、復職支援の依頼も増加している。

(2) 新規就職者の状況

- 新規就職者数は33名で昨年度より8名減ったが、新型コロナウイルス感染症がまん延する前の令和元年度とほぼ同水準で、ここ数年では多かった。

- 手帳種別では精神障害者保健福祉手帳が 6 割を占める。

(3) 離職者の状況

- 離職件数は 26 件。昨年度並みの水準である。
- 離職者のうち 22 名は精神保健福祉手帳をお持ちの方。職場環境を含めたジョブマッチングを精神障害のある方自らが見立てていくことの難しさがあると思われる。

(4) 支援の状況

① 支援全般について

＜支援内容別件数＞

(件)

職業相談（就労全般）	6,076
就職準備支援（適性、能力の把握、就労意欲や職業能力の向上等）	242
職場開拓件数（独自の職場開拓）	11
職場実習（通勤援助、職務分析等）	95
職場定着支援	434
離職支援（諸手続き、調整等）	22
通院同行	42
家庭訪問	5
合 計	6,927

- 職業相談の件数が昨年度を大幅に上回った。新規相談が多く寄せられているのが主な原因。

② 余暇支援

- 登録者の交流を目的とした茶話会は新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で開催した。
- 生活講座は今年度 9 月と 3 月の 2 回、防災をテーマに実施。
9 月は在宅避難をテーマに、3 月は「家の外で災害に遭ったら」をテーマに、どちらも防災士の方を招いて実施した。ご利用者の関心が高いテーマだったためか、いずれもの回も昨年度を上回る参加があり、盛況な会となった。

3 地域関連機関や団体との連携

(1) 市内就労移行支援事業所等との連携体制の強化

今年度は、以下内容で武蔵野市障害者就労支援ネットワーク連絡会を計 3 回開催した。

① 第 1 回

- 内容：就労選択支援制度の動向について情報発信と共有。
- 日時：7 月 22 日（月）13:30～15:00／ZOOM によるオンライン開催
- 情報提供：障害者就業・生活支援センターオープナー
- 参加者：45 名。

② 第 2 回

- 内容：就労選択支援制度の動向について情報発信と共有。就労選択支援制度で求められるアセスメントの視点について学習
- 日時：11月25日（月）13:30～15:00／ZOOMによるオンライン開催
- 講師：障害者就業・生活支援センターTALANT
- 参加者：37名。

③ 第3回

- 内容：東京都の障害者雇用状況について情報共有。就労選択支援制度の動向について情報発信と共有。
- 日時：3月17日（月）13:30～15:00／ZOOMによるオンライン開催
- 参加者：28名。

(2) 武蔵野市役所障害者庁舎内実習

- 今年度は第1期の庁舎内実習を令和6年10月21日（月）～11月1日（金）、第2期を令和7年2月3日（月）～2月14日（金）で実施した。
- 実習生の公募は例年通り、あいる及び市内就労移行支援事業所等に向けて行い、あいる職員が事前に実習内容の説明、配慮事項等の聞き取りを行った上で、障害者福祉課、人事課の担当者による選考を実施し、参加者を決定した。
- 昨年度同様、第1期、第2期とも1名につき1週間の実習とした。第1期、第2期とも3名の参加があった。

(3) 武蔵野市、三鷹市、ハローワーク三鷹共催「障がい者の就労を考えるつどい」

障害者雇用の理解促進と啓発を目的に、年1回、武蔵野市、三鷹市、ハローワーク三鷹で合同開催。昨年度同様集合開催と録画配信のハイブリッド形式で実施した。

- テーマ：「障害者雇用における雇用の“質”とは？～雇用の質が求められる、これからの障害者雇用を考える～」
- 内容：ハローワークによる行政報告、テーマに即した東京障害者職業センターによる基調報告、パネルディスカッション（企業、働く障害当事者、支援機関）で構成。障害者雇用支援法に定められた、事業主による雇用の質向上に向けた責務について、具体的な取り組み、また、働く当事者の方に求められる姿など、それぞれの立場から発信していただき、参加者と学びを深め合う機会とした。
- 日時：10月29日（火）14:00～16:00 配信期間 11月8日～12月8日
- 場所：三鷹産業プラザ7階会議室／配信はyoutubeで申込者への限定公開
- 講師：ハローワーク三鷹雇用指導官／東京障害者職業センター多摩支所主任障害者職業カウンセラー／障害者就業・生活支援センターオープナー施設長／働く障害当事者の方／株式会社TDS事業推進室室長
- 当日参加者：90名／動画視聴申込者数155名

(4) 企業見学会

武蔵野市は就労移行支援事業所が多く、求職ニーズがとくに高い地域性であることから、求職ニーズと企業の求人ニーズが会う機会を以下の通り提供した。

- ① 株式会社 NTT データだいち（江東区）
8月26日（月）13:30～15:00／参加者5名
10月21日（月）13:30～15:00／参加者5名
- ② 株式会社 HUGE（世田谷区）
2月17日（月）16:00～ ／参加者4名
- ③ 日本赤十字社 赤十字子供の家（武蔵野市）
2月18日（火）10:00～ ／参加者7名

(5) 多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会（多摩ブロック会）

センター長が委員として参加。2月に開催された東京都障害者就労支援関係機関意見交換会において、東京都福祉局からの依頼を受け、他の委員との協働のもと、企画と当日の進行を実施。「就労選択支援制度」が中心的話題として取り上げられ、事前に多摩ブロック会において、意見交換に向けた各センターの声について集約をはかるなど、ブロック会と意見交換会の連動に取り組んだ。

4 職員研修

(1) 事例検討会

帝京大学元永教授をスーパーバイザーに招き、事例検討会を全6回実施。スーパーバイザーからの具体的な助言を元に、職員がケースを抱え込んでしまうことのないよう、職員間の意見交換を活性化していくことをねらいとして実施した。

(2) 外部研修

38件参加。

9 武蔵野福祉作業所

1 事業運営

事業全体の状況としては、収入面では報酬改定で増収となったが、利用者の定員割れが課題となっている。毎年度、利用者や家族の高齢化等に起因する退所者がいる一方、新規利用者がいない状況が続いている。今後、さらに多くの利用者を受入れ、事業を活発化させていく事が必要となる。サービスの視点では、利用者の要望が強かった宿泊旅行を5年ぶりに実施した。安全への配慮で内容を縮小したが、利用者の満足度が高く、通所意欲の向上に繋がった。今後も新規利用を呼び込むための魅力ある取り組みを行うことが求められている。

2 利用者の状況と活動内容

(1) 年間実績一覧

多機能型・定員	80名	見学者数(利用に向けての見学)	3名
利用者延数(年間)	14,792名	実習生(一般・学生等)延人数	31名
サービス提供日数(年間)	243日	事前の体験利用者数	11名
利用者数 1日平均	61名		

(2) 利用者数

令和7年3月31日現在(単位:人)

事業名(定員)	前年度末	入所	事業間異動 での増減	退所	今年度末
就労継続B型(70)	63	0	0	0	63
生活介護(10)	7	0	0	2	5
計(80)	70	0	0	2	68

(3) 年齢別利用者数(平均年齢40.6歳)

令和7年3月31日現在(単位:人)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	0	12	12	10	6	2	3	45
女性	0	6	7	4	6	0	0	23
合計	0	18	19	14	12	2	3	68

(4) 障害者自立支援法による障害支援区分の数

令和7年3月31日現在(単位:人)

未確定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
22	0	7	21	16	2	0	68

(5) 障害・度数別利用者数

令和7年3月31日現在（単位：人）

		愛の手帳					精神手帳			合計
		1 度	2 度	3 度	4 度	なし	1 級	2 級	3 級	
身体障害手帳	1 級	0	2	0	1	1	0	0	1	5
	2 級	0	1	1	0	1	0	0	0	3
	3 級	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	4 級以下	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	なし	0	24	29	4	0	0	1	0	58
	合計	0	27	31	5	3	0	1	1	68

(6) 活動時間

基本的な活動時間は9時～16時（一部16時15分）を基準とし、時間構成は4コマで、午前と午後の15分休憩と昼休み60分を設定した。

(7) グループワークプログラム

少人数グループプログラム「WG夢の扉（健康体操）」毎週木曜日、「WGつながる（地域清掃・募金活動への参加等）」年7回、「ワークショップ（表現活動）」隔週金曜日を実施。

(8) 作業活動と工賃

今年度の就労収入は、前年度から70万円程度増加した。受注事業とレストラン事業が好調で、利用者の減少に伴い減収となった給食事業の穴埋めをする形となった。また、食品事業では、感染症拡大に伴い休止していた「タワーズマルシェ@むさしの」への出店を再開した。やさい食堂七福では、物価高騰のため令和7年3月に価格改定を行った。給食事業では、工賃支給実績（就労継続支援B型の月平均）は、令和5年度16,591円に対し16,085円となった。工賃評価を10月に実施した。

【売上実績表】

（単位：千円）

	食品部門			受注部門	合計
	給食	レストラン	配食・イベント		
令和5年度	14,357	10,041	6,095	12,384	42,877
令和6年度	13,595	10,898	6,016	13,077	43,586

(9) 年間行事

【バスハイク】

○行 先： 八景島シーパラダイス

○日 程：5月17日（金）、5月24日（金）、5月31日（金） 計3回

○参加人数：利用者 68 名、職員 24 名、計 92 名

【宿泊旅行】

○行 先：山梨方面（河口湖など）

○日 程：① 9 月 12 日（木）～13 日（金）、② 9 月 19 日（木）～20 日（金）

③ 9 月 26 日（木）～27 日（金） 計 3 回

○参加人数：利用者 62 名 職員 21 名 ボランティア 2 名 計 85 名

【親睦会】

○納涼会：7 月 23 日（火）、24 日（水）

○新年会：1 月 6 日（月）

○内 容

・納涼会・忘年会：ゲーム・イラスト制作、お土産付

・新年会：前半は食堂で全体会、後半は各グループに分かれて書初めと昼食

(10) 自治会

○役員選挙・・・4 月 30 日（火）

○全体会・・・11 月 20 日（水） イントロクイズ・ビンゴ大会

2 月 25 日（火） 陣内大蔵さんコンサート

(11) 研修会（利用者対象）

○6 月研修会：全 2 回 「防災について」（地震）

○11 月研修会：全 4 回（2 日間）「報連相について」（仕事の報告・連絡・相談）

(12) のびのびストレッチ

運動機会の提供を目的に、講師を招いて希望者を対象に運動プログラムを実施（各グループ 2 回、全 6 回実施）。

3 地域関連機関や団体との連携

(1) 市立大野田小学校への学習協力

9 月 17 日（火）4 年生の「総合的な学習の時間」での授業協力

(2) 成蹊大学理工学部システムデザイン科との福学協働の取り組み

「プロジェクト型実習」への協力（授業での講義・作業用ジグ研究へのフィードバック等）

(3) やさい食堂七福と武蔵野市健康づくり事業団との連携

レストランメニューに関する管理栄養士によるコメント掲載

健康づくり事業団主催「試食付き講座 学んで実践！ウォーキング教室」への弁当提供

(4) 中央連合会（中央商店会）との連携

「むちゅーde デジタルスタンプラリー」への参加

4 職員研修

内部研修として、医務研修、感染症研修、防災研修、虐待防止研修、就労支援研修、情報セキュリティ研修、ハラスメント研修を実施した。外部のオンライン研修等へ職員を派遣し、参加者は職員に研修内容を報告し共有を図った。

5 苦情受付件数

7 件

6 人権擁護虐待等受付件数

2 件

7 その他

(1) 家族連絡会

家族連絡会を5月20日、9月18日、3月21日の3回実施した。事業所から利用者家族に向けた情報伝達、作業所の建て替え計画の進捗状況等について報告を行った。

(2) 広報紙

利用者向け広報紙「むさしのだより」を毎月発行した。

(3) 保健衛生

看護師による日常看護としての利用者の健康管理と嘱託医（内科・精神科）による健康相談を毎月5回、健康診断、歯科検診（武蔵野市在住・希望者のみ）を実施した。また、感染症対策、緊急医療対応シミュレーション研修を行った。

(4) 給食

法人の栄養士が献立を作成し、就労支援事業として職員と利用者で調理した給食を提供した。主食と主菜の選択食をそれぞれ毎月1回行った。

(5) 総合防災訓練

6月20日(木)に総合避難訓練を実施した。月1回、発災時にヘルメットを速やかにかぶる練習として「ヘルメット訓練」を実施した。

10 ワークステージりぷる

1 事業運営

事業理念「新しいステージをみつけよう！」に基づき、ステップアップを目指す方から緩やかな働き方を希望される方まで、個々の可能性や希望に寄り添い、社会人として豊かな生活を送ることができるよう支援を進めた。従来の受注作業を中心に、新たに事務補助作業を開発、導入し、利用者の作業機会や職業適性アセスメントの幅を広げた。また、コロナ禍で据え置きになっていた利用者工賃について、令和6年11月に改定（工賃アップ）を行った。

社会生活力プログラムについて、従来の日常生活力の向上に資する内容に加え、ビジネスマナーに関するプログラムを新たに導入し、より社会人としてのスキル向上につなげることができるよう支援を進めた。また、個々の特性に配慮したコミュニケーション支援について研究、検討を重ねて実践を進め、活動時や個別面談時の利用者の意思決定がより円滑になるよう努めた。

これらの推進のために職員の支援会議や研修の機会を確保するとともに、支援時間外の作業による残業を大幅に縮減（前年度比△51%）するなど、職員の働き方についても見直しを行った。

2 利用者の状況と支援内容

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数(日)	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
利用回数(回)	411	409	383	404	367	363	423	387	396	353	346	385	4,627
稼働率(%)	98	97	96	92	87	96	96	97	99	93	96	96	95

(1) サービス利用契約の状況

利用開始1名（他サービスからの移行）、終了1名（他サービスへの移行）

(2) サービス提供時間

9:00～16:30・週5日を基本（最大）とし、個別の事情や希望（加齢や心身の状態変化など）に応じて、時間短縮や週利用日数減の設定も行った。

(3) 就労支援事業について

就労会計収入（作業売上）は6,529,736円で前年度比△21.5%（△1,784,263円）となったが、利用者への工賃支払い可能額を見直すことにより、令和6年11月より基本時間単価を191円から212円（+11%）に改定した。また受注作業以外に、就労移行支援事業等へのステップアップを見据えた事務補助作業を開発し、利用者への新たな作業種として提供を開始した。

(4) 個別支援計画と定期面談の実施

半期毎（年2回）に個別支援計画の見直しを行った。また、利用者および家族面談を実施して希望や意見を聴取し、次期の個別支援計画に反映させた。

(5) 関係機関との連携による生活支援の取り組み

相談支援事業所やグループホームと連携して支援に取り組み、利用者の円滑な通所や地域生活の維持に努めた。

(6) 学習活動支援（社会生活力プログラム）

社会生活力の向上を目的として、各種プログラムを実施した。（防災学習と防災食の実食（9

月)、余暇活動時の昼食購入体験(10月・1月)、挨拶などのビジネスマナー講座(不定期))
また、就労支援領域全体で土曜日特別プログラムを2回実施した。(相手にも自分にもやさしいコミュニケーション(11/16)、元気に働くための楽しい体操(3/1))

(7) 行事、余暇活動等

一日外出(10月・西武園遊園地・希望者)を実施した。また、年末年始に忘年会と新年会を実施した。

(8) 保健衛生

定期健康診断(7月)、歯科検診(6、9月・希望者)、栄養相談(10月・希望者)を実施した。

3 地域関連機関や団体との連携

武蔵野市地域自立支援協議会に職員を派遣した。

4 職員研修

(1) 内部研修

情報セキュリティ研修(6/28(金))、リスクマネジメント研修(11/5(火))、嘔吐物処理研修および感染症 BCP 机上訓練(11/12(火))、人権擁護虐待防止・身体拘束等適正化研修(12/12(木))、自然災害等 BCP に関する研修および机上訓練(2/13(木))、障害理解「知的障害や自閉スペクトラム症の方と働くために」(3/13(木))、工賃アップセミナー(基礎・応用)伝達研修(3/27(木))

(2) 法人就労支援領域合同研修(けやき、いんくる、武蔵野福祉作業所、りぷる)

就労継続支援 B 型職員に必要なアセスメントの視点と方法論を学ぶ(講師:高原浩氏 1/14(火)実施、1~3月録画配信)

(3) 外部研修

ヤマト福祉財団 パワーアップフォーラム(7月・1名)、東京しごと財団 就活セミナー(7月・1名)、東京都 工賃アップセミナー基礎編(7~8月・1名)、東社協 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員研修(11月・1名)、東京都 発達障害者相談支援研修(12月・1名)、東京都 工賃アップセミナー応用編(1月・1名)

5 苦情受付件数

2件

6 人権擁護虐待等受付件数

0件

7 その他

(1) 利用者・家族向け広報「ほっとりぷる」の発行(年4回)

(2) 北町ほっと館全体での防災訓練の実施(2/6(木))

11 武蔵野市児童発達支援センターみどりのこども館 通園部ウィズ

1 事業運営

当事業所は武蔵野市より委託を受けている指定管理施設で、令和２年度より『相談部ハビット』との機能を合わせて、児童発達支援センター（児童福祉法）として運営している。

児童の通所部門『通園部ウィズ』の対象児は３～５歳児で、１日の定員は２０名である。

令和６年度は子どもの登録が年間で２４名（年度途中の入園と退園各１名）、平均利用数が１６.１/日、稼働率が８０.３％であった。

2 利用児の状況と活動内容

（令和７年３月３１日現在 単位：人）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ利用人数	327	346	341	319	255	322	397	364	326	257	272	295	3821

（１）通園を利用した子どもの概況 年間を通した状況

①年齢別利用児数

（令和７年３月３１日 単位：人）

	３歳児 (年少)	４歳児 (年中)	５歳児 (年長)	合 計
男児	3	4	5	12
女児	5	5	0	10
合計	8	9	5	22

②障害程度別利用児数

（令和７年３月３１日現在 単位：人）

		愛 の 手 帳					
		１ 度	２ 度	３ 度	４ 度	等級不明	なし
身 障 手 帳	１ 級	0	0	0	0	0	0
	２ 級	1	0	0	0	0	0
	３ 級	0	0	0	0	0	1
	４ 級以下	0	0	0	0	0	1
	等級不明	0	0	0	0	0	0
	なし	0	0	3	6	0	11

（２）行事等（通園関係）

行事名	月 日	行 事 内 容
入園式	4/5	入園式・保護者会
保育園との交流	5/28 8/27 12/13 2/14	吉祥寺保育園
親子遠足	10/25	屋内・冒険の島ドコドコ（立川）へ

家族参観日	6/14	家族参観
	12/20	お楽しみ会
季節行事	7/5	あそぼうデー
	9/27	運動会
	2/28	ミニコンサート（保護者参加なし）
誕生会		該当月の誕生祝い（保護者参加なし）
プール		屋外プール（7月～8月）
延長保育	年 11 回	年中・年長児対象
卒園式・修了式	3/27	卒園式（就学 5 人、転園 3 人）
避難訓練	9/11	こども館全体訓練 2 回、うち 1 回は引き取り訓練
	3/6	災害時伝言ダイヤル訓練 2 期間
保護者会		年に 3 回実施（7 月、12 月、3 月）
保護者向け講座	1/20	「幼児期のコミュニケーションの発達について」
個別面談		年に 3 回実施（6～8 月、11～12 月、2～3 月）
入園説明会	2/4・5	事業説明・利用契約・インテーク等
パイプオルガン体験	2/7	在園児・保護者が参加
卒園児のつどい	8/5	卒園児（小 1～小 3）親子の交流会

3 他機関との連携・協力等

- ・教育委員会：通園児の実態把握表の作成・提出、個別行動観察の受け入れ
- ・他療育機関：並行利用児の幼稚園訪問・電話連絡、市内児童発達支援事業所連絡会への参加
- ・子ども家庭支援センター：ケースについての連絡・協力
- ・特別支援学校：卒園児に係るカンファレンスに参加
- ・図書館読み聞かせの会事業への協力
- ・ボランティア受け入れ（4 名）
- ・武蔵野市子ども協会学童クラブ職員の派遣研修受け入れ（12 名）
- ・きょうだい交流会への参加

4 職員研修

- （1）事業所研修／音楽療法まとめ
- （2）館内研修／ケースカンファレンス、情報セキュリティ研修、感染対策研修、幼児安全法講習、権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化研修
- （3）外部研修／熱中症予防講演会、市内保育園見学研修、ハビット発達基礎コース、小平特別支援学校 夏の公開講座、新医協全国研究集会・講演会

5 苦情受付件数 0 件

6 人権擁護虐待等受付件数 0 件

12 武蔵野市児童発達支援センターみどりのこども館 相談部ハビット

1 事業運営

ハビットサテライトとの間で分業し、みどりのこども館ハビットでは主として療育相談事業を実施している。

受理面接の申込数が13件増加。同申込数は毎月20件前後で推移しているが、6・10月に28件、11月に27件、2月に30件申込があり、申込数が多い月と翌月には待機が40日を超えることがあった。事業所内での効率化など改善を図ったが、大幅な解消には至らなかった。なお、待機日数減少には繋がらないが、土曜日の受理面接枠が埋まらない場合は、平日へ枠を移動して受理面接枠数が保たれるよう対応した。継続相談数は欠員の影響もあり昨年度より減少している。

相談形態としては、来所相談が280件減の一方、電話相談は118件増、メール・オンライン相談は17件増と増加傾向であり、多様な相談形態が求められる状況は変わらない。

2 事業内容（令和7年3月31日現在の実績数）

- ・対象 0～18歳までの子どもとその保護者
- ・開所日 月～金 月1回土曜日に相談を実施
- ・受付時間 9：00～17：00
- ・内容 心身の発達に心配のある子どもに対する家庭での支援・生活指導・関係機関との調整、法内障害福祉・児童通所サービス等の利用に関するプラン作成・モニタリング

(1)療育相談事業

新規相談	365件
受理面接（初回面接）	216件
継続相談	2518件
医療相談	23件（18回実施）

(2)親子通園事業 休止

グループ数	登録者数	実施回数	延参加者数
0	0	0	0

(3)施設訪問事業

保育園・幼稚園	83件
学校	83件
その他	53件

(4)計画相談支援

計画作成	0件
モニタリング作成	21件
計画相談・モニタリングに関する相談	21件

(5) 各種支援活動、研修等

① 家族支援

- ・保護者会…就学に向けた保護者会は学校種別・学級別で7回、児童発達支援事業利用に向けた保護者会を1回実施。保護者会終了後、交流会を開催。
- ・きょうだい交流会…2回実施
- ・ペアレントメンターと話そう…6回開催。メンター及び関係機関との打合せ(1回)

② 地域支援

- ・研修事業(講師)…ハビット地域支援講習会 発達基礎コース(全9回)／地域子ども館西ブロック研修、教育支援センター子育て支援講座
- ・ハビット×ぐるりん(年3回)…ハビットの専門職による利用者向けミニ講座と相談
- ・特別支援教育事業(随時)…特別な支援が必要な児が在籍する市内幼稚園からの武蔵野市補助金申請に対する園訪問及び意見書作成
- ・地域型保育事業に係る障害児加算意見書作成(随時)
- ・特定教育・保育等(幼稚園)に係る療育支援加算意見書作成(随時)

③ 関係機関連携

- ・発達健康診査(健康課事業)に社会福祉士・理学療法士を派遣(15回)
- ・健康課フォロークラスに5名派遣(10回)
- ・担当者会議主催(1回)
- ・子ども家庭支援センター主催担当者会議参加(3回)
- ・幼稚園主催担当者会議参加(1回)
- ・子ども家庭支援センターとの実務者連絡会(隔月開催)

④ 研修等

- ・子ども家庭支援センターとの合同研修参加(2回)
- ・保健センター、教育支援センターとの3センター合同研修会講師(1回)
- ・幼児安全法講習(1回)

3 苦情受付件数 0件

4 人権擁護虐待等受付件数 0件

5 その他

・ハビット全体(こども館、ハビットサテライト)の相談で、最終の相談日から1年以上経過して相談を希望する再相談ケースが、令和5年度に16件、今年度は26件と増加傾向にある。年齢や所属等により発達課題の顕れ方が変わり、ある時期には適応的に過ごせていても成長とともに新たな課題や困りごとが生じた場合、相談先として選ばれていることが窺える。

・利用者が療育や特別支援に関する情報を得やすいよう、メール配信を本格的に始動した(登録制)。

13 武蔵野市児童発達支援センターみどりのこども館 相談部ハビットサテライト

1 事業運営

みどりのこども館相談部ハビットのサテライトオフィスとして主に計画相談を実施。福祉サービス利用希望の受理面接、療育相談も実施している。来所相談は92件で昨年度と同水準であり、市西部地域のハビット相談利便性向上に寄与している（令和5年度101件・4年度31件）。

計画相談利用実人数は433名から406名に減少したが、継続相談件数は年々増加傾向にあり令和6年度も昨年度から150件強増加している。モニタリングで生活上の困りが明らかとなる場合と、モニタリング時期以外でも保護者や関係機関から相談が持ち込まれる場合があり、必要に応じて継続的に相談を行った。また、関係機関との会議回数が昨年度の3回から16回へ増加し、複数機関との連携による支援が必要なケースも増加している。

2 事業内容（令和7年3月31日現在の実績数）

- ・対象 0～18歳までの子どもとその保護者
- ・開所日 月～金 月1回土曜日に相談を実施
- ・受付時間 9：00～17：00
- ・内容 心身の発達に心配のある子どもに対する家庭での支援・生活指導・関係機関との調整、法内障害福祉・児童通所サービス等の利用に関するプラン作成・モニタリング

(1)療育相談事業

新規相談	7件
受理面接（初回相談）	5件
継続相談	1039件

(2)計画相談支援

計画作成	34件
モニタリング作成	728件
計画相談・モニタリングに関する相談	937件

(3) 各種支援活動、研修等

①関係機関連携

- ・担当国会議主催（3回）
- ・ウィズ-放課後等デイサービスパレット引継ぎ会（1回）
- ・健康課フォロークラスに4名派遣（9回）
- ・子ども家庭支援センター主催担当国会議参加（12回）
- ・学校・幼稚園等子育て関連施設主催の担当国会議参加（3回）
- ・病院主催担当国会議参加（1回）
- ・子ども家庭支援センターとの実務者連絡会（隔月開催）
- ・放課後等デイサービス wacca へ事業説明（1回）

②研修等

- ・子ども家庭支援センターとの合同研修参加（2回）

3 苦情受付状況 1件

4 人権擁護虐待等受付件数 0件

14 武蔵野市児童発達支援センターみどりのこども館 おもちゃのぐるりん

1 事業運営

武蔵野市内在住の親子が自由に来館し、遊べる場を提供している。子どもの遊び場であり、保護者の交流の場となっている。常駐の職員がいることで気軽に子育ての相談ができ、また必要に応じて児童発達支援センター相談部ハビットと連携し、療育相談につなげている。

コミセン親子ひろばや今年度から始まった中央高架下公園におもちゃを20点程度持参する「出張ぐるりん」は、月2回の頻度で実施した。そのほか、子育て支援施設やゆりかごむさしのフェスティバルのイベントのコーナーとして「出張ぐるりん」を行った。

「手作りファースト・トイ」(妊娠6ヵ月の方から生後5ヵ月までの子どもと保護者対象)は、対面(5組限定)にて年4回開催した。(なお、この事業の運営は、武蔵野市子ども協会に委託している)

2 事業内容

- ・事業 子どもと保護者がおもちゃで自由に楽しく遊べる場の提供
- ・対象者 市内在住の未就学児と保護者
- ・利用料 無料
- ・開館日 火～土の週5日間(日・月・祝日・年末年始は休館)
- ・開館時間 10:00～16:00
- ・スタッフ 子育て支援員 正規職員2名 嘱託職員1名 アルバイト4名
*支援員は保育士・幼稚園教諭いずれかの免許取得者、アルバイトスタッフも全員の資格者
- ・おもちゃの在庫数 約300種類あり季節ごとのテーマに合わせて常時70～80個を用意している。
- ・その他の実施事業
手作りおもちゃの会・季節の手作りおもちゃや工作の催し・貸出し事業・おもちゃ病院(おもちゃ修理)・畑での体験・外部講師によるワークショップ・ボランティアによるおはなしひろば及び催し・ハビット×ぐるりん・みどりのこども館看護師と話そう！

3 活動実績

- ・開館日数 251日(前年度 248日)
- ・利用児総数 4,697人(前年度 5,149人)
- ・平均利用児童数 1日: 18.7人(前年度 20.8人)
- ・ひろば相談(随時対応) 314件

年齢別利用人数

(令和7年3月31日現在 単位:人)

年齢別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	その他	合計
利用児数	674	1,246	770	536	651	483	230	107	4,697

*その他は小学生以上の兄弟等

4 年間実施行事

(1)参加人数等

(令和7年3月31日現在 単位:人)

手作りおもちゃの会							
4月 第2週	37人	7月 第2週	54人	10月 第2週	53人	1月 第3週	72人
5月 第2週	52人	8月 第2週	56人	11月 第2週	38人	2月 第2週	47人
6月 第2週	56人	9月 第2週	68人	12月 第2週	58人	3月 第2週	62人

ハビット×ぐるりん(ハビット職員によるミニ講座と座談会)定員8組		組数
5月28日	これってもしかして、イヤイヤ・・・？！(公認心理師)	2組
9月24日	うちの子右利き？左利き？(作業療法士)	7組

1 月 24 日	知っておきたい！乳幼児の体を使った遊び(理学療法士)	7 組
----------	----------------------------	-----

みどりのこども館看護師と話そう(子育てに関するミニ講座と座談会)定員なし	組数
6 月 27 日 看護師と話そう♪季節のライフ&ケア	6 組
11 月 26 日 看護師と話そう♪季節のライフ&ケア	8 組

保健師の日

(令和7年3月31日現在 単位:人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2	1	2	2	3	3	6	5	9	2	3	4	42

その他のイベント						
4 月	・手作りファースト・トイとお話し会 ・手形のこいのぼり作り	1 人 33 人	10 月	・わくわくもくようび『こまであそぼう』	1 人	
5 月	・わくわくもくようび『シャボン玉』 ・わくわくもくようび『野菜の苗植え』	6 人 2 人	11 月	・わくわくもくようび 『ぐるりんのゲームであそぼう』 ・わくわくもくようび 『アナログゲームを作ってあそぼう』	3 人 7 人	
6 月	・わくわくもくようび『こままわし』 ・WS 作って遊ぼう！楽しい手作り おもちゃ屋さん	3 人 14 人	12 月	・クリスマスのお楽しみ☆なにがでるか な？(ガチャガチャ) ・手作りファースト・トイとお話し会	107 人 2 人	
7 月	・手作りファースト・トイとお話し会 ・ブラックベリーのジャムづくり ・わくわくもくようび『お水であそぼう』	5 人 4 人 5 人	1 月	・わくわくもくようび 『ゲームであそぼう』×2 回	5 人	
8 月	・わくわくもくようび 『センサリーバッグ』	17 人	2 月	・つみきであそぼう ・わくわくもくようび『カッピーの日』 ×4 回	9 人 7 人	
9 月	・わくわくもくようび『色水遊びを楽しもう』 ・わくわくもくようび『シャボン玉を楽しもう』 ・WS 出張なかよしライブラリー ・手作りファースト・トイとお話し会	5 人 4 人 21 人 3 人	3 月	祝・卒園★アイロンビーズで飾りを作ろう	14 人	

- ・おもちゃ病院 (原則第4土曜日に開催) 実施回数:12 回修理おもちゃ数: 189 件
おもちゃ病院協会のドクター養成講座に参加したおもちゃドクター(有償ボランティア)6名が、
壊れたおもちゃを無償で修理(材料費のみ個人負担)。個人・施設からの修理依頼を受付。
- ・手作りファースト・トイとお話し会 (年に 4 回)大野田福祉の会の方にボランティアとして参加してもらい、
赤ちゃん向けの手作りおもちゃ作り・お話し等を行う。
- ・おもちゃの貸出し(毎週水・土曜日) 貸出し数: 1,929 件 登録者 318 人
子ども一人につきぐるりんの貸出しおもちゃ約 150 点の中から1点、1週間の貸出し
- ・出張ぐるりん(基本月2回開催) 実施回数:23 回 参加人数(子ども):814 人
- ・みどりのこども館あそぼうデー 午前 10 時から午後 4 時まで実施

(2) 広報活動

- ・ぐるりんだよりの発行 偶数月に 1,100 部発行
保育園等市内施設に設置:配布箇所 74 施設
- ・ホームページや X(旧ツイッター)、インスタグラムによる情報提供(10 月より運用開始)
令和6年度 ・X のポスト数:143 フォロワー数:689 人(令和 7 年 3 月末現在)
・インスタグラムの投稿数:25 フォロワー数:52 人(令和 7 年 3 月末現在)

15 居住支援ユニットリエゾン

1 事業運営

ご利用者の個性と主体的な生活の実現を大切に支援の継続を検討した。しかし、医療的ケアが必要な状況になるなど、より快適で安全な生活を継続するために、生活の場を移行する方もいた。また、ご利用者ご家族の高齢化に伴い安心した生活の場について検討が必要。

チャレンジ自立生活体験事業については、感染症対策を継続しながら男性8名、女性6名で実施し大きなトラブルや事故なく終えることが出来た。チャレンジ期間終了後に行う振り返り面談では、ご自宅での様子の変化や、チャレンジ期間中に取り組んでいた洗濯などの様子を伝え、ご自宅でも継続できるよう提案などを行った。

限られた職員で事業を円滑に運営するために、ユニットを跨いだ協力体制を強化できるような課題を共有し検討を進めた。

2 利用者の状況と支援内容

(1) 利用者の入居状況(令和7年3月31日現在 入居者合計52名)

- ・せきまえハウス 男性6名
- ・きたまちハウス① 男性8名
- ・きたまちハウス② 男性7名
- ・くすの木① 男性4名
- ・くすの木② 男性9名
- ・かしの木(南館) 女性10名
- ・かしの木(北館) 女性8名(1名欠員募集中)

(2) 利用者数

	前年度	入所	退所	合計
男性	34	1	0	34
女性	18	0	1	18
合計	52	0	0	52

(3) 年齢別利用者数

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	3	7	12	10	1	1	34
女性	0	2	11	3	2	0	18
合計	3	9	23	13	3	1	52

(4) 障害程度別利用者数

愛の手帳	1 度	2 度	3 度	4 度	愛の手帳 なし	計
	0	2 4	1 8	8	2	5 2

身障手帳	1 級	2 級	3 級	4 級以下	身障手帳 無	計
	5	2	0	2	4 3	5 2

(5) 障害者総合支援法による障害支援区分の数

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
0	9	9	1 9	1 0	5	5 2

(6) 利用日

年末年始を含めて通年利用

(7) 通所方法

本人単独で通勤・通所している方 2 9 名、通所施設の送迎を受けている方 2 3 名

(8) 年間利用状況

延べ人数 年間合計 14,803 人(利用サービス日数 365 日)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
1,230	1,229	1,235	1,256	1,233	1,193
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1,300	1,247	1,245	1,191	1,146	1,298

(9) 活動全般

- ・ 年末年始も含め年間を通じた入居者の利用があった。
- ・ 入居者が新型コロナウイルスに感染が確認された際は、同フロアの利用者家族へ報告し、感染拡大防止に努める上で宿泊継続について判断を委ねた。今年度はユニットの閉鎖が必要なほどの感染拡大、職員罹患には至らず。
- ・ かしの木南館でボランティアセンター武蔵野と、関前福祉の会からの紹介で下記内容の余暇活動を実施した。
 - ① 令和 6 年 5 月 19 日、クリスタルボール（ボランティアセンター武蔵野紹介）
 - ② 令和 6 年 7 月 21 日、塗り絵（ボランティアセンター武蔵野紹介）
 - ③ 令和 6 年 8 月 25 日、トランプ（ボランティアセンター武蔵野紹介）
 - ④ 令和 6 年 10 月 20 日、ボードゲーム（ボランティアセンター武蔵野紹介）

- ⑤ 令和6年11月9・10日、関前コミセンまつり、成蹊大学UNIより学生ボランティア1名参加
(コミセンまつり：関前福祉の会紹介、学生ボラ：ボランティアセンター武蔵野紹介)
- ⑥ 令和6年12月15日、ジャズコーラス(ボランティアセンター武蔵野紹介)
- ⑦ 令和7年2月2日、サックス演奏(ボランティアセンター武蔵野紹介)
- ⑧ 令和7年2月24日、カードゲーム(ボランティアセンター武蔵野紹介)
- ※令和6年8月24日、関前南小の花火大会に出かけた。(ボラセン関係なく、南館独自で企画・対応したもの)

(10)保健・食事

- ①健康管理：健康診断(1回)、歯科検診、インフルエンザワクチンの集団接種(10月)
- ②食 事：七福の配食サービス、外部の配食サービスを併用して利用した。また、引き続き、入居者の好みに応じた「お楽しみメニューの日」を設定やディナーの設定も行った。
- ③通 院：必要に応じて通院の付き添いを実施した。

(11)家族関係

事前アンケートで希望をとり、年度末面談を実施した。今年度はオンラインは活用せず、希望されたご家族は全員対面で実施した。

(12)見学者

受け入れを緩和したが、実績は数件で市内在住の方からの見学希望と、新規入居者募集に際して希望が聞かれたのみであった。

(13)制度利用の支援

訪問看護(介護保険2人、その他2人)、訪問リハビリ(介護保険1人、その他1人)、機器介護(介護保険：2人)、訪問診療(介護保険2人、その他1人) 訪問歯科(介護保険2人) 訪問マッサージ(1人)などの制度利用のために、引き続き各事業者と連携しました。

(14)消防機器設備の定期点検の実施

各グループホームの自動火災報知設備と自動通報設備の定期点検(年2回)を行った。

(15)防災訓練の実施

各グループホームにおいて、避難、消防設備の使用方法の確認、機材の使用確認など、複数回実施した。また、きたまちハウスにおいては、建物がワークステージりぷると同一のため、共同して、北町ほっと館として1回避難訓練を実施した。

(16)チャレンジ自立生活体験事業

事業運営について、きたまちハウスの短期入所事業で活用する居室とグループホームかしの木北館の居室を活用し、「チャレンジ自立生活体験事業」を実施した。令和6年度は6月から3月まで男性8名、女性6名の計14名にチャレンジ自立生活を経験していただいた。
※男女とも年間8名定員

3 地域関連機関や団体との連携

武蔵野市地域自立支援協議会地域移行部会、桜野地域社協、大野田地域防災会、関前地域社協、へは運営委員の派遣をした。こだまネットへは理事として派遣。

4 職員研修

(1) 法人研修

基礎研修⑤に1名、チーム力アップ研修に1名を派遣した。

(2) 外部研修

東京都が主催する、「強度行動障害支援者基礎研修」に2名、「強度行動障害支援者実践研修」に1名、「グループホーム従事者基礎研修」に2名、「サービス管理責任者基礎研修」に2名、虐待防止・権利擁護研修（主催：東社協、東京都福祉保健財団）に各1名、「相談支援従事者現任更新研修」に1名、「キャリアアップ研修」に1名を参加させた。

(3) 内部研修

外部から講師を招き「GH利用者の退所先や、退所後の生活に向けての準備について」というテーマで、より多くの職員が参加できるよう10月に2日間に分け実施した。

(4) 人権擁護・虐待防止研修

令和6年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修に参加した職員のテキストと、権利擁護・虐待防止・身体拘束等適正化委員会からの資料を基にユニットごとに研修を実施した。

5 苦情受付件数 0件

6 人権擁護虐待等受付件数 0件

16 武蔵野市障害者福祉センター

1 事業運営

武蔵野市障害者福祉センターは、在宅心身障害者の通所訓練施設として昭和 55 年 12 月 3 日開設。障害のある方々が地域との相互理解と連帯を深めながら、各種事業を通じて社会参加と自立を目指し障害福祉の増進を図ることを目的として運営してきた。平成 29 年度からは指定管理者制度を導入し、社会福祉法人武蔵野が施設管理とともに生活リハビリサポートすばる（自立訓練・生活介護）や障害者相談支援事業所ほくと等の事業所を一体的に運営している。

令和 6 年度は令和 5 年 5 月から新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したものの、引き続きマスクの着用、手指消毒などの対策を講じながら施設の貸出などは通常の定員、時間帯に戻して実施した。コーラスなどの講習会を条件付きで実施し、飲食を伴う「お菓子作り」や「昼食づくり」「一日外出」などについても看護師の指導の基、衛生管理を徹底し再開した。また調理室の貸出しは空調機器や給湯機器の故障により中止とした。センター講演会については商工会館の市民会議室にて行った。

令和 6 年度の報酬改定により、生活介護において滞在時間ごとの報酬算定が導入され、大幅な減収が見込まれたが、自立訓練（機能訓練）の利用頻度の制限の見直しなどで利用者数が増えたため、大幅な減収は免れた。

2 部門別報告（令和 7 年 3 月 31 日現在の実績数）

（1）管理部門

①部屋貸し（地下会議室、調理実習室、印刷室、録音室、視聴覚室）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数（件）	44	33	36	35	29	35	37	33	31	33	26	38	410
延人数（人）	357	240	308	311	234	275	311	278	249	270	255	317	3,405

（機器の故障のため調理実習室の貸出は行わなかった）

②通所移送事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数（人）	454	548	530	532	475	491	516	470	461	419	408	459	5,763

③障害者講習会（エアロビ、美術、太極拳、将棋、体操、椅子に座ってヨガ他）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数（人）	0	61	62	50	0	52	54	36	48	51	41	22	477

④医療相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数（件）	33	20	32	29	31	26	28	29	25	24	27	36	340

⑤失語症デイサービス（やまもも）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数(件)	-	-	-	-	-	-	5	10	10	6	7	2	40

※社会福祉法人とらいふ「ぐっとういる境南」で実施していた事業を、令和6年10月より委託先を変更し、障害者福祉センターで実施。

※3月19日は積雪のため中止とした。

⑥行事・地域活動等

・センター講演会

令和6年11月23日(土) 会場名 商工会館 市民会議室

「誰もが活躍できる社会へ」～最後の壁は自分の中にある～

講師：木村 潤平 参加者 50 名

・障害者福祉センター運営協議会

第1回 令和6年8月1日 令和5年度実績報告

令和6年度事業実施計画と実施状況について

武蔵野市障害者福祉センター改築事業について

第2回 令和7年3月25日 令和7年度事業計画(案)について

武蔵野市障害者福祉センター改築事業について

・安全対策連絡会議 2回（9月19日、2月27日）

・避難訓練 2回（9月26日、3月6日）

・千川地域社協（4月30日、10月25日）

・東部フェスティバル実行委員会（6月24日、8月28日、9月2日）

・東部福祉の会「東部フェスティバル」（11月10日）に参加

・千川地域防災会の役員会（令和6年4月20日、5月18日、10月19日）に参加

・あったかまつり(10月19日)

・はちコミまつり(10月12日、13日)に作品展示で参加

・失語症会話パートナー養成講座（9月21日基礎知識編、10月17日、31日・11月14日・28日、12月12日・26日、1月9日の計8回）に講師として参加

・輪っかになろう展(7月18日)

・小さな輪っか展(2月27日)

⑦職員研修

・情報セキュリティ研修（内部研修）

・令和6年度虐待防止権利擁護研修（内部伝達研修）

・ハラスメント研修

・心のバリアフリー研修会

・その他（施設長研修、実践発表会(11月29日)など）

(2) 相談部門

①専門相談

ア) リハビリ相談（住宅改修、補装具等 電話、来所、訪問など）（延人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
専門相談	130	138	124	108	85	121	112	95	130	81	86	50	1,260

- ・心のバリアフリー啓発事業の講師派遣 4 団体、延べ 524 名
- ・同行援護従事者研修の講師 1 件

イ) ゆいっと相談件数（高次脳機能障害）（延人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談 (来所・電話・訪問)	163	127	124	161	152	161	182	164	156	143	143	170	1,846
うちサロン	11	14	14	23	7	15	15	14	16	16	19	25	189

- ・高次脳機能障害関係機関連絡会 年 2 回 事務局機能としての活動
- ・高次脳機能障害関係機関連絡会運営委員会 年 4 回開催
- ・北多摩南部医療圏 高次脳機能障害者支援普及事業：支援者会議 3 回、研修会 2 回
- ・市区町村高次脳機能障害相談支援員連絡会 年 2 回
- ・居宅介護支援事業所、特定事業所加算のための勉強会 1 回（11/8）
- ・北多摩南部医療圏地域リハビリテーション支援事業にて講演（11/28）
- ・介護保険住宅改修試行事業所研修会にて講師（12/9）

ウ) 視覚障害専門相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談（来所・電話・訪問）	52	32	36	26	27	42	41	47	38	51	24	2	418
うち点字教室	10	12	13	13	7	13	8	13	9	11	7	0	116
うち地域生活学習会	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	6
バリアフリー相談	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4

- ・同行援護従事者養成研修会 オブザーバー
- ・同行援護従事者フォローアップ研修 オブザーバー
- ・心のバリアフリー啓発事業 講師 4 団体、延べ 605 名
- ・武蔵野市バリアフリー工事、印刷物等への助言 4 件

②特定計画相談

・実績

障害別	契約者数 (実数)	計画作成数 (延べ)	モニタリング実施数 (延べ)
視覚	48	49	139
高次脳 他	20	19	38
身体	20	22	57

(3) 通所部門

①自立（機能）訓練（通所および訪問によるリハビリテーションサービス）

午後1時～4時

毎週月～金

1日の定員 10名

・実績

(延人数)

平均 5.9人/日

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立 訓練	通所	110	126	134	154	145	118	110	103	102	109	98	105	1,414
	訪問	2	9	3	4	0	1	3	1	2	0	1	1	27
市単（通所）		8	10	8	0	0	7	5	9	7	0	0	0	54
計		120	145	145	158	145	126	118	113	111	109	99	106	1,495

・利用者の状況

(性別/年齢)

令和7年3月31日

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計
男	0	0	0	0	3	3	0	6
女	0	0	0	1	2	1	0	4
計	0	0	0	1	5	4	0	10

(障害手帳の内容)

障害名	肢体障害	視覚障害	重複 (視覚・精神)	重複 (肢体・精神)	重複 (肢体・知的)	精神	なし
人数	8	0	0	0	0	2	0

②生活介護（通所デイサービス）午前10時～午後4時 毎週月～金 1日の定員10名

・実績

(延人数)

平均 4.9人/日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生活介護	107	101	98	105	103	90	99	96	99	84	92	110	1,184
市単独	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	7	25
計	107	101	98	105	103	90	108	105	99	84	92	117	1,209

・利用者の状況（性別／年齢）

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計
男	0	0	2	1	1	2	0	6
女	0	0	1	1	2	1	0	5
計	0	0	3	2	3	3	0	11

（障害者手帳の内容）

障害名	肢体障害	視覚障害	重複 (視覚・精神)	重複 (肢体・精神)	重複 (肢体・知的)	精神	なし
人数	6	1	0	2	1	1	0

3 苦情受付件数 0 件

4 人権擁護虐待等受付件数 0 件

17 わくらす武蔵野

1 事業運営

障害者地域生活支援ステーションわくらす武蔵野は、障害者総合支援法上の施設入所支援、生活介護（日中活動）、短期入所、行動援護、相談支援、武蔵野市単独事業のショートステイ事業（なごみの家）、貸館事業（オリーブホール）、昨年度より武蔵野市から委託を受けた地域生活支援拠点等事業を行った。また、合わせて施設入所の制度を活用した体験入所を延べ3名の受入れを行った。

新型コロナウイルス感染症の影響で縮小していた事業を元の状態レベルに戻すべく、特に短期入所や武蔵野市単独事業のショートステイ事業について、感染症の拡大状況を見極めながら、利用を希望する方の受入れを行なった。

施設入所支援について、令和6年度は特に変化はなく昨年度同様の入所者であった。生活介護は、退所者0名、入所者1名であった。現在利用者数は43名/定員50名となっている。

行動援護について定期的な利用が減少し、貸館事業（オリーブホール）については、市の公共施設の貸し出しルールを参考に事業を継続し、実績は1団体のべ2件だった。

感染症については、陽性者が複数発生したため、その都度保健所の訪問指導などを通じて感染対策の見直しと強化を図った。

2 利用者の推移

（単位：人 令和7年3月31日現在）

（1）施設入所支援

年度	令和4	令和5	令和6
利用者数	37	38	38

（2）体験入所

年度	令和4	令和5	令和6
利用者数	0	1	3

（3）生活介護（通所利用者）

年度	令和4	令和5	令和6
利用者数	4	5	5

（4）行動援護

年度	令和4	令和5	令和6
利用者数	1	1	1

（5）計画相談

年度	令和 4	令和 5	令和 6
利用者数	40	17	

※モニタリング 83 件

(6) 短期入所

年度	令和 4	令和 5	令和 6
利用者数 (市内)	17	97	190
利用者数 (市外)	0	0	0

月別利用件数 (件数は 1 日単位)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
短期入所	4	8	8	12	23	13	8	18	29	14	21	32	190

(7) なごみの家

年度	令和 4	令和 5	令和 6
利用者数	58	117	273

月別利用件数 (件数は 1 日単位)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
なごみの家	16	25	26	24	15	20	30	23	26	12	23	33	273

3 地域関連機関や団体との連携 (貸館事業: オリーブホール)

北町キャラバン (吉祥寺ナーシングホーム在宅介護・地域包括支援センター)

11/13(水)、11/20(水)、年間 2 回開催

月別利用件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2

4 施設見学対応

(1) 小金井障害者福祉センター家族の会①、10 名、5/23(木)

(2) 東京都自閉症協会、10 名、6/21(金)

- (3) 小金井障害者福祉センター家族の会②、3名、6/25(火)
- (4) NPO 法人むさしの成年後見サポートセンターこだまネット、6名、7/30(火)
- (5) 成蹊中学校、2名、8/28(水)
- (6) 障害をもつ子どものグループ連絡会、4名、11/13(水)
- (7) 全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会首都圏グループ、14名、11/30(土)
- (8) 株式会社 LITALICO、2名、2/28(金)
- (9) 社会福祉法人宝もの トライフル国分寺、2名、3/25(火)

5 行政視察(市役所にて説明のみ)

- (1) 山口県山口市議会 7/24
- (2) 滋賀県彦根市福祉病院教育常任委員会 10/23

6 地域生活支援拠点等事業

- (1) 地域生活支援拠点事務会議(参加者：武蔵野市障害者福祉課、市内相談支援事業所4事業所、わくらすコーディネーター、わくらす事業担当者、わくらす施設長)
地域生活支援拠点等会議に向けた企画準備、マニュアル等作成等、事例検討、地域生活支援拠点会議の準備等の運営事務全般を担う役割として、拠点事務会議を毎月開催した。
(実績) 4/11、5/9、6/13、7/11、9/12、10/10、11/14、12/12、1/9、2/13、3/13 計11回
- (2) 地域生活支援拠点会議(参加者：武蔵野市障害者福祉課、市内相談支援事業所4事業所の施設長、わくらすコーディネーター、わくらす事業担当者、わくらす施設長)
武蔵野市の地域生活支援拠点等事業の全般の運営や相談機能の「登録判定会議」等を担う会議として、毎月開催した。
(実績) 4/18、5/16、6/20、7/18、9/19、10/17、11/21、12/19、1/16、2/20、3/21 計11回
- (3) 拠点相談機能の検討と実施
地域生活支援拠点等事業における相談機能は、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握し登録した上で、緊急時の連絡体制を確保し、介護者の急病、死亡等により生じた緊急事態に必要なサービスのコーディネートや相談、その他必要な支援を行う機能である。今年度は精神障害、発達障害、身体障害などの相談支援事業所も加わり、相談機能についての流れや仕組みなど事例検討含めて協議した。登録については、びーとから2名、ほくとから1名、計3名の登録を行った。
- (4) 体験機能
地域での暮らしを体験、確保する上でグループホームの機能と役割が求められている。武蔵野市内であるグループホームの実態把握を行うために、市内にあるグループホームへの個別の訪問や電話による聞き取り調査などを行った。
- (5) 専門的人材確保と育成
地域における専門的人材確保や育成について、武蔵野市地域包括ケア人材育成センターを訪問して意見交換を行った。今後も情報共有と連携を実施していくことを確認した。

7 職員研修

・東京都強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	4名
・東京都強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	2名
・施設長・係長研修(武蔵野市社会福祉法人連絡会議研修会)	2名
・評価者研修	2名
・東京都福祉人材センター主催研修福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (中堅職員研修)	2名
・法人実践研修(旧3年目研修)	2名
・サービス管理責任者研修(更新)	2名
・サービス管理責任者研修(新規)	1名
・情報セキュリティ研修	全職員
・喀痰吸引研修	4名
・相談支援従事者研修	2名
・障害者虐待防止・権利擁護研修(事業所内)	全職員
・BCP 対策研修	全職員
・東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	2名
・心理師研修「自閉症・発達的基础研修」	全職員
・他事業所見学研修	1名

6 苦情受付件数 7 件

7 人権擁護虐待等受付件数 0 件

8 その他

- ・武蔵野市地域自立支援協議会相談支援ネットワーク、委員派遣
- ・東京都地域移行促進コーディネート事業ブロック会議、委員派遣
- ・吉祥寺北町5丁目町会研修会、参加
- ・武蔵野市立大野田小学校3年生 総合的な学習の時間「〇〇なまち、武蔵野」において、施設見学の予定であったが、感染症クラスターにより中止とし出前授業に変更した。
- ・ラシーネ西東京を運営する社会福祉法人靖和会より、講演会の講演依頼があり、施設入所支援について講演した。

18 武蔵野市桜堤ケアハウス

1 事業運営

武蔵野市桜堤ケアハウスの1年間の利用者動向は退所者が1人、新規入居者は1人となった。また60代入居者が1名、70代入居者2名、80代以上の入居者が21名（最高齢103歳）と高年齢化が進んできている。それに伴い、加齢による理解判断力及び記憶力（認知機能）の低下が進んでいる方、軽度知的障害や軽度の認知症状のある方、気分障害（躁鬱等）を訴える方が混在しており、生活相談員が集団生活上の悩み事や入居者同士の人間関係、体調などに関する相談にこまめに応対し、入居者の精神状態安定が図れるよう努めている。

自立的に過ごされるお元気な方もおられるが、長引くコロナ禍の影響でフレイル状態になる方が増え、入居者の状態像が二極化している。特に身体面や精神面に関する不安やストレス、どこことなく調子が悪い不定愁訴を強く訴える方が増えた。長期間に渡る黙食やマスク生活による口腔機能の低下、人と接する機会が極端に減り認知機能の低下を有する方、入居者同士の良好な人間関係を保てない方、日常生活以外の新しい事への対応が難しい方も増え身の回りの世話や生活相談などの支援力が求められている。

このような状況下において、その人らしさを大切に、良好な関係を築きながらケアハウス及び地域での生活を継続できるよう、個々の心身の状態に合わせた相談支援を行っている。

2 利用者の状況

(1) サービス提供形態と利用実績

サービス種類：軽費老人ホーム(ケアハウス)		延べ利用者数	利用率
定 員	29名(中部屋25室・大部屋2室)	8,852名	83.6%

(2) ケアハウス利用者の状況について

① 入退所状況

(人)

	令和6年度当初	退 所	入 所	令和6年度末
男性	10	0	0	10
女性	14	1	1	14
合計	24	1	1	24

*退所者1名は他施設への転居による。

② 年齢構成等

<平均年齢>

(歳)

区 分	男 性	女 性	全 体
平均年齢	83.50	89.71	87.17

<年齢構成>

(令和7年3月31日現在・24人)

	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	合計
男性	0	0	2	0	3	2	3	0	0	10
女性	0	1	0	0	1	4	6	1	1	14
合計	0	1	2	2	4	6	9	1	1	24

③ 要介護認定状況 ※総合事業対象者は、令和6年度当初0名、令和6年度末0名

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均要介護度
令和6年度当初	3	0	3	6	2	0	0	1.55
令和6年度末	2	0	5	5	1	1	0	1.43

④ 外部サービス利用状況

*重複あり

(令和7年3月31日現在・24人)

性 別	ホームヘルプ サービス	通所系サービス	訪問看護	訪問リハ	訪問診療
男 性	4	2	2	1	0
女 性	3	5	3	1	1
合 計	7	7	5	2	1

3 その他の実績

(1) ボランティア

ボランティア活動延人数：205名（手作りの会・傾聴・活動補助・配食・麻雀・俳句・脳トレ）

配食件数：延べ279件（おせち1食含）

(2) 多世代交流としてスペース提供（乳幼児・児童等と入居者との交流機会）

平成30年度から3階・和室を、月曜から金曜日の平日（祝祭日除く）の午後に、市内の小・中学生を対象に有償補習教室の場所として無償で貸し出している。

昨年度に続き近隣小学校や近隣保育園、合築する信陽舎寮生との交流を再開した。近隣小学校児童とは七夕の飾りつけや敬老会でのお祝いの品渡し、「ウェルフェアフェスティバル in 桜堤」での吹奏楽演奏、近隣保育園とは園児による歌や手遊びの披露、寮生とは合同での避難訓練、夏の夕食会のお手伝い、自主サークル麻雀の会のボランティア参加等交流を図った。

金魚や亀を飼っている正面玄関脇の池は、近隣の小規模保育室・保育ママさんの乳幼児たちの散歩コースとして開放し、定期的に交流を図っている。また入居者が作成した雑巾を近隣小学校に寄贈し間接的交流に努めた。

(3) 音楽アクティビティの継続

昨年度、試行的に実施した音楽アクティビティは「大きな声で歌える」「笑える」など入居者から好評を得て、今年度から毎月2回の定期開催となった。専門講師の助言をもとに、唱歌や歌謡曲を歌いながら体を動かし、声を出すことで気持ちが明るくなりフレッシュできると、毎回10名以上の方が参加をされている。

(4) ボランティアの継続

長引くコロナ禍で人との関わりが限定され閉塞的な生活が続き、フレイル状態になる方が増えたことを受け、令和4年度より傾聴ボランティアを開始した。対象となっていた入居者の退去もあり現在は3名の方が傾聴・傾聴活動ボランティアとして継続されている。傾聴はマンツーマンで実施し成育歴や趣味についての話や気候に応じて屋外散歩、傾聴活動はボランティアと複数の入居者が英字新聞を切り貼りしながら作品を制作、気候に応じて屋外でのお茶会等を実施した。また、手作りの会、脳トレや俳句の会、将棋や麻雀もボランティアを導入しており入居者のQOL維持に繋がっている。

今年度、初めての試みとして長年ボランティア活動をされている方々に感謝を伝える場として「ボランティア懇親会」を開催した。6名の方が参加されケアハウスの紹介ビデオを流しながらスマイル弁当を召し上がって頂き職員手作りの感謝状を贈った。

(5) 桜堤スマイル弁当

昨年度「地域社会に役立つ」取り組みとして、地域で開催される高齢者向けの講座や会合などで、持ち帰り弁当の販売を企画した。今年度は老人会や老人クラブからの依頼を受け、9団体193食を配達、うち2団体は複数回利用され季節に応じた献立を提供しており好評を得ている。

4 食事提供、健康管理等

(1) 食事提供状況

利用者の食事形状では下表のような状況がみられている。

常食	24	粥・おかず普通（きざみ等）	0	（令和7年3月31日現在・24名）
----	----	---------------	---	-------------------

日々の健康状態を食事摂取状況からも把握ができるため、調理部門職員と生活相談員とが連携する。基本的に常食で提供するが体調不良時（コロナ関連等）は調理部門職員と相談、本人の意向を確認し一時的に粥食を提供した。また、身体状況に応じて安全に配下膳が出来ない時は、本人・保証人の了承を得て一時的に弁当対応をするなど入居者の状態像に併せ対応を変更した。

行事・伝承食（伝統的文化食）や海外のメニューも組み入れ、季節感のある食事の提供を行った。また「ご意見箱」の活用や食事アンケート、嗜好調査は管理栄養士が入居者一人ひとりに意見や要望の聞き取りを行い、そのリクエストを随時献立に反映した。主食や主菜は入居者の好みや身体状況に応じて提供量を変え選択できるようにしている。

入居者の高齢化により咀嚼嚥下力の低下が見られる方も増えており、食材の調理方法を見直し食べやすい工夫を行った。さらにコロナ禍でも楽しみの持てる食事になるよう、行楽弁当（厨房が調理したお弁当を屋外やパーテーションなしのテーブルで食べる）クリスマスディナーや夏の夕食会でうなぎ、調理職員と一緒にクッキー作り等、楽しめるメニューの創意工夫を行った。

(2) 健康管理等の状況

入居者自身の病識の低さや服薬管理が難しい入居者へは、介護サービス（訪問看護）利用の提案や週1回開催している嘱託医による健康相談の利用を勧め、保証人には定期的な訪問や電話連絡による内服・体調確認をお願いした。今年度も全入居者と嘱託医との面談を実施、健康診断の結果をもとに日常生活での留意点などの助言を受け日々の支援に繋げた。

定時の内服が出来ず体調を崩す方、体調不良時や健康診断の際に一人での通院が難しい方も増えており本来は家族やヘルパー同行だが迅速な対応が難しい場合は相談員が医療機関と調整を行い、付き添えない場合は相談員が同行し病状説明等行っている。

安心・安全な日常生活を送って頂けるよう、コロナ禍でも心身機能及び日常生活動作の維持向上を目的に、さわやか健康クラブでは専門講師を招いて月1回の介護予防体操を実施。入居者のフレイル予防に努め、ケアハウスでの生活が維持できるよう指先や下肢筋力維持に活かせる体操を取り入れ、今年度も9月と3月に体力測定を実施し、日々の生活の中でも歩行の機会やラジオ体操への参加、居室で出来る軽体操を周知し、体力・筋力維持を目標とした。年2回の計測で数値を大きく下回る入居者はおらず、日々の積み重ねが重要であることを各自実感していた。

また、カラオケ機材を使用してのコグニサイズを週1回実施、唱歌や流行歌を歌いながら頭と体を動かすプログラムや昔の映像を流す回想法等を取り入れた。座ったまま出来るため体力に自信のない方も参加でき「楽しかった」「またやって欲しい」と好評を得ている。

5 相談支援等

入居者の高齢虚弱化、さらに理解判断力の低下により、集団生活上のルールやマナーなどが守れなくなってきた方が増えており、入所者間でのトラブル、人間関係上の精神的な抱え込みも多くなっている。そのため、一人ひとりの状況に合わせた相談支援や関係機関との調整を図り、また家族（保証人）とも連絡を取り合いながら対応している。特に認知症や理解判断力の低下による物取られ等の訴えや、約束事が守れない方には特別な配慮をして対応をしている。

一方で保証人の高齢化や保証人不在、家族が課題を抱えているケース、亡くなられた方や疎遠となられているケースも増えてきており、現状の経済面に関する支援や入院時の身上監護、次の生活の場に向けて、適切な関係機関と連携した支援の必要度が増してきている。

この他に入居者全員に対して、入居者の日常生活における要望などを伺い、ケアハウスで「安心・安全な生活」が送れるよう個別支援計画書を作成し個別相談支援に努めている。

健康管理・疾病等に関すること(体調管理、通院介助、医療機関との連絡調整等)	427 件
日常生活全般・精神的なケア(食生活・住環境等の生活面、人間関係調整等)	990 件
介護保険等の制度利用2に関すること(制度の紹介や申請手続き、関係機関との連携)	70 件

6 各種事業実績

(1) 年間行事の実施状況

(人)

行 事 名	実 施 日	行 事 内 容	参加人数
新茶を楽しむ	4/30・5/13	昼食時の配茶時に新茶をふるまう	延べ 22 名
入居者個別面談	5 月上旬から 6 月 下旬にかけ実施	入居者と職員の個別相談	24 名
お役立ち講座	5/29	熱中症対策として外部講師を招いて講座	15 名
七夕行事	7/5	近隣小学生児童と一緒に飾り付けを実施。	6 名 (入居者)
夏の夕食会	7/24	季節感を楽しんでいただく食の提供。土用の丑の日にちなみうなぎを提供。合築する学生寮の理事長と寮生 4 名も参加。	23 名
ST（言語聴覚士）の による講座	8/15	同法人の言語聴覚士を招いて摂食嚥下についての講座を開催。	13 名
選択食	8/27・10/13	事前にポスターで周知し、当日その場で 2 種類のメニューから選ぶ。	延べ 46 名
リフレッシュ体操 (スポーツ東京案内事業)	8/14	外部講師を招いてフレイル予防に繋がる体操や脳トレを実施。	12 名
敬老会	9/15	昼食時に賀寿のお祝い、お祝い膳を提供	23 名
ST（言語聴覚士） による相談会	11/7	同法人の言語聴覚士を招いて、摂食嚥下に関する相談会を開催。食事中の入居者の摂食動作を見ていただき、座位姿勢の確認や安全に食べられるよう助言を頂く。	延べ 23 名
季節の湯	12/20	冬至の日に希望者にゆずを配布	20 名
新年のお祝い膳	1/1	昼食時に新年会を実施	23 名
桜堤保育園園児交流	1/16・21	4 歳児 20 名・5 歳児 18 名の園児がそれぞれ来所。手遊びや歌を披露し入居者と交流。	延べ 24 名
節分(豆まき)	2/3	昼食時に節分豆と甘納豆を配布し、1 階正面玄関前での豆まきを実施	延べ 34 名
クッキー作り	2/12	管理栄養士と調理職員が主体となり入居者と一緒にクッキーを作り、コーヒー共に召し上がる。参加されない方にも夕食時に提供。	5 名

コーヒータイム	2/25・27	入居者からコーヒーが飲みたいとの希望があり、コーヒーメーカーで淹れたコーヒーをお茶菓子と共に提供。	延べ 28 名
お花見の会	3/14	市内の洋菓子店のプリンやケーキを玄関前で販売。その場で紅茶やコーヒーを飲みながら召し上がって頂く。	17 名

(2) 趣味活動、他の実施状況

活動名	活動回数(実施月)	活動概要、他
さわやか健康クラブ	月 1 回	体操のインストラクターによる健康体操。年度内で 2 回の筋力測定実施。
音楽アクティビティ	月 2 回	音楽講師を招いて唱歌や歌謡曲を歌いながら体を動かす機会の提供。
手作りの会	月 1 回 (中断あり)	地域のボランティアによる小物づくり教室。
傾聴・傾聴活動 ボランティア	月 1～3 回 (不定期)	3 名のボランティアが傾聴や活動補助を実施。傾聴以外にも天候の良い日などはケアハウス周辺を共に散歩する等。
俳句の会	月 1 回 (木曜)	ボランティア講師による俳句の勉強会。
将棋の会	月 1 回 (不定期)	入居者数名とボランティアが将棋を楽しむ。見学だけでも可能。
NEW 脳トレの会	月 1 回 (木曜)	ボランティア講師と共にクイズや脳トレを楽しむ。
コグニサイズで フレイル予防	週 1 回 (木曜)	カラオケ機材を利用し職員と一緒に唱歌や流行歌を歌いながら頭と体を動かす。
入居者懇談会	年 6 回 (偶数月実施)	入居者と職員による懇談会。 (意見交換、行事等の案内、利用上のルール等確認)
避難訓練	年 6 回 (5・6・8・10・12・2月)	学生寮生と合同の日中・夜間想定防災訓練。 (今年度も感染対策を実施して学生も参加)
健康相談	週 1 回	配置医師による健康面、持病等に関する相談。今年度は全入居者との面談を実施。

7 入居者の募集・選考、入居の問い合わせ

(1) 募集・選考

今年度は 5 月に空部屋の募集・抽選を実施した。例年、入居募集は 3 回実施していたが、9 月に大部屋（旧二人部屋）を一人でも利用できるよう運用規定を見直し、10 月の入居者懇談会で武蔵野市高齢者支援課から説明を行い、現入居者から入居希望が聞かれたため、居室変更に向けての作業・手続きなどを、随時武蔵野市高齢者支援課と相談しながら進めた。1 月に中部屋（旧

一人部屋）から大部屋（旧二人部屋）への引っ越し、補欠の方の入居準備等により空床がないため募集は1回のみとなった。

8 職員研修

(1) 昨年度と同様にケアハウス全体で研修委員会を設置し、年間計画を立てて研修担当者による虐待防止・事故防止・感染症対策・大規模災害時の対応等の講義を行い、ケアハウス職員の資質向上を図った。取り急ぎ、職員の意識が他人事から我が事に変容し、自ら研修内容の必要性を理解して、他の職員にも周知徹底したことで相乗効果が得られた。

(2) 桜堤ケアハウス職員全体研修会の実施

開催日	研 修 内 容	
2/16(金)	桜堤ケアハウス全体研修会 ① 個人情報保護・事故防止等の法令順守について ② 接遇（言葉遣いの基本）とコミュニケーション ③ 大規模災害時の対応について（停電編等）	参加者数 17名

9 苦情受付件数 0 件

10 人権擁護虐待等受付件数 0 件

11 その他

(1) 大規模修繕等の工事について

工 事 名 称
29年目を迎えて大規模工事はないが、10月に高圧ケーブル更新・交換工事、2～3月に貯湯槽タンク配管工事、3月に共用部の空調管理パネルの交換を行った。

(2) 新型コロナウイルス感染症に対する対応について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したのを機に感染状況を確認しながら感染防止対策を少しずつ緩和した。一方で集団生活でもあるため予防策（黙食、マスク着用・手洗い・手指消毒等）の周知徹底を図ったが、11月末～12月中旬にかけて入居者・職員併せ12名が罹患するクラスターが発生した。保健所と嘱託医の指導と助言を受け食堂や共同浴室の閉鎖、自主活動やラジオ体操など集団での活動を中止し、感染拡大防止策を徹底した。

1日2回の検温は継続、体調不良時は早めの受診や嘱託医への相談を促した。感染症罹患患者以外にも一年を通し、入居者数名の発熱者や体調不良者に対しては嘱託医の指導や助言をもとに、保証人とも連携を図りながら体調が安定するまで居室で過ごしていただくようお願いした。

引き続き、新型コロナウイルス感染症以外にもインフルエンザや感染性胃腸炎などの流行期には、感染予防対策の注意喚起を行い感染予防に努めていく。

19 桜堤ケアハウス在宅介護・地域包括支援センター

1 事業運営

武蔵野市の西部地域(桜堤・境・関前)の高齢者総合相談窓口として、地域にお住まいの高齢者やその家族に対して、医療・介護・福祉サービスの情報提供・利用調整や、権利擁護に関する支援など、24時間365日絶え間なく行ってきた(電話受付については、夜間帯はゆとりえへ転送)。また、市役所内にある「基幹型地域包括支援センター」との協力体制を取りながら、地域包括ケアシステム実現・推進に向けて取り組みを行ってきた。あわせて、地域で活動する民間ケアマネジャーに対して、相談・支援等のサポートも充実させてきた。

年々増加している複雑化・多様化、広域化・長期化する相談や、複合化する課題解決に向けて、障害相談機関との合同研修の開催や専門機関とのケースカンファレンスなどをおして、専門的な知識・技術の向上に努めてきた。

地域においては、災害(防災)に関する取り組みや事例を通して、地域でのサポート体制についてスポットを当てた地域ケア会議を開催し、このテーマを設定したことで、地域だけでなく、ケアマネジャーの防災意識を高めることができた。また、UR・きんもくせいと定期的に情報交換・共有の場をつくり、地域で生活する高齢者への支援の充実や、情報提供などの仕組みづくりに着手することができた。

当圏域内にある9カ所のいきいきサロンについては、令和6年度は3名体制でモニタリングの実施や会議等に参加し、生活支援コーディネーターが中心となって運営の維持・存続に努めた。

家族介護支援においては、桜堤・境・関前それぞれの地区でウロフレイル(排泄)の講座を行い、その他、在宅介護・地域包括支援センターの役割と、防災に関する講座を開催し、地域との顔の見える関係づくりを行った。

昨年度に引き続き、11/2に「ウェルフェア・フェスティバル in 桜堤」を開催し、地域住民の方たちに、地域にある事業所・施設を知っていただく機会となった。また、「みゅうちゅある」「サンセール武蔵野」「さくらえん」だけでなく、「Life Design つむぎ」も参加することになり、地域の輪を広げ、事業所・施設間の横のつながりをさらに深める機会となり、地域のネットワークづくりを充実させてきた。

2 相談の状況と支援・活動内容

(1) 在宅介護支援センター事業

① 延べ相談件数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数(件)	324	350	355	382	377	339	409	349	372	371	361	362	4,351

※年々相談は増加傾向

② 相談実人数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数(件)	274	301	296	329	305	289	316	263	309	295	299	293	3,569

※年々相談は増加傾向

③ 実態把握

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数 (件)	143	147	161	178	180	149	181	144	169	145	137	135	1,869

*年々相談は増加傾向

④ 認定調査件数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数(件)	45	38	49	59	58	46	64	39	60	59	46	76	639

*新規同行調査：127 件

⑤ ケアプラン作成数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護 (件)	4	3	3	3	4	3	5	3	7	7	4	4	50
予防 (件)	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	16

*民間ケアマネジャーが対応することがむずかしいケースを中心に担当

(2) 地域包括支援センター事業

①虐待防止(虐待対応件数) : 13 件 *重複あり

身体的：8 件	経済的：0 件	心理的：4 件	性的：0 件	介護放棄：1 件
---------	---------	---------	--------	----------

②権利擁護等対応件数 : 64 件 *重複あり

成年後見制度関連：44 件	消費者被害：6 件	困難事例：14 件
---------------	-----------	-----------

③地域連携等件数 : 228 件

地域連携会議：35 件	介護予防啓発：7 件	他機関との連携：186 件
-------------	------------	---------------

④ケアマネ支援件数 : 923 件

個別の相談：475 件	同行訪問：394 件	担当者会議へ出席：54 件
-------------	------------	---------------

*地域包括 3 職種以外の職員も専門的な相談を受け、随時対応を行っている

(3) 認知症相談

開催日	4/17	7/17	10/16	1/22	合計
件数 (件)	3	0	0	1	4

*年 4 回場所を提供し、職員が相談に立ち会う

3 地域関連機関や団体との連携

(1) 家族介護者教室

開催日	6/12	9/10	12/10	2/19	3/11	合計
テーマ	在宅介護・地域包括支援センターについて知ろう	災害時の備えについて	高齢者の排泄について	高齢者の排泄について	高齢者の排泄について	73 人

参加人数	6 人	16 人	13 人	25 人	13 人	
開催場所	市民会館 2 階 第二学習室	サンヴァリエ桜堤 中央集会所	関前コミュニティセンター 2 階 会議室	スイングビル レインボーサロン	サンヴァリエ桜堤 中央集会所	

(2) 地区別ケース検討会（1 1 回）

開催日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加人数（人）	23	19	25	25	0	18	21	21	21	19	21	20	233

＊毎月 1 回開催される、在支・包括が主催するケアマネジャー参加の勉強会

(3) 地域ケア会議（エリア別 1 回・個別 3 回）

会議種別	エリア別	個別			合計
開催日	3/10	6/19	9/25	1/17	
参加人数（人）	15 人	6 人	8 人	9 人	38 人

＊毎年エリア別 1 回、個別 3 回開催のノルマあり

(4) 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座・地域認知症講座

① 認知症サポーター養成講座

開催日	10/31	11/26	3/18	合計
参加人数	8 人	13 人	17 人	
開催場所	トヨタモビリティ東京（株）武蔵野関前店	プレイス	武蔵野赤十字病院 山崎講堂	
参加団体	トヨタモビリティ東京（株）武蔵野関前店職員	市民	武蔵野赤十字病院職員	38 人

② ステップアップ講座

開催日	7/12	8/31	11/12	12/9	合計
参加人数	21 人	台風のため中止	29 人	13 人	
開催場所	武蔵野商工会館	スイングホール	武蔵野市役所	武蔵野市役所	63 人

③ 地域認知症講座

開催なし

(5) 民生児童委員との定例会（2 回）

開催日	7/30	2/25	合計
参加人数	17 人	17 人	34 人

(6) 地域連携に関わる講座

開催日	6/16	6/29	9/21	11/20	3/12	合計
参加人数	45 人	21 人	20 人	17 人	19 人	122 人
テーマ	とらいふ福祉用具展示会	介護保険について	エンディング講座	地域で住み続けられるために	在宅介護支援・地域包括支援センターの役割	
開催場所	とらいふ	サンヴァリエ桜堤 中央集会所	サンヴァリエ桜堤 中央集会所	桜堤コミュニティセンター	きんもくせい	
参加団体	とらいふデイ福祉用具事業所	さくら会	さくら会	桜寿会	一般市民	

*老人会、コミセン、福祉の会をはじめとした地域の団体からの講座依頼あり

4 支え合いの仕組みづくり・介護予防

(1) いきいきサロン事業（9か所）

サロン名	サロン開催時間	サロン事業内容	開設年度
iki なまちかど保健室	毎週水曜日 10:00～11:30	健康講座、手話ソング、ボッチャ、コグニサイズ等	H29 年度
マルセサロン	毎週木曜日 14:00～15:00	朗読、塗り絵、折り紙等	H29 年度
五丁目クラブ	毎週木曜日 13:00～16:00	カラオケ、ボッチャ等	H28 年度
どんぐり広場	毎週金曜日 14:00～16:00	体操、脳トレ等	H30 年度
ルンルンサロン	毎週土曜日 14:00～16:00	書道、ちぎり絵、折り紙、ミニボウリング、食と健康講座等	H28 年度
なのはなサロン	毎週日曜日 10:00～11:30	軽体操、タオル体操、座ってフラダンス、ボッチャ、風船ゲーム、合唱等	H29 年度
サロンきずな	毎週水曜日 10:00～11:30	ふまねっと、テーブルテニス、輪投げ、ボッチャ、トランプ、脳トレ、ジェンカ、手話ソング	R4 年度
さわやか	毎週火曜日 13:00～15:00	茶話会等	R3 年度
青空サロン	毎週火曜日 13:00～15:00	健康体操、ボッチャ、輪投げ、カラオケ等	R5 年度

*月 1 回、生活支援コーディネーターがいきいきサロンのモニタリングを実施。また、適宜運営支援等を実施

(2) いきいき健康 地域プロジェクト * 3 (1) 家族介護者教室にも掲載

開催日	2/19	合計
参加人数	25 人	25 人

テーマ	高齢者の排泄について ～ウロフレイルを知っていますか～	
開催場所	スイングビル レインボーサロン	
参加団体	日本製紙クレシア株式会社、つつじ鍼灸整骨院、市役所高齢者支援課	

5 職員研修

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数（件）	0	3	4	2	2	5	3	3	0	4	7	2	35

＊研修内容内訳：

ケアマネジャー更新研修・主任ケアマネジャー更新研修・権利擁護研修・精神保健福祉研修・市内在宅介護・地域包括支援センター研修他

6 苦情受付件数 0 件

7 人権擁護虐待等受付件数 0 件

20 武蔵野市放課後等デイサービスパレット

1 事業運営

当施設は武蔵野市より委託を受け(指定管理)、児童福祉法の放課後等デイサービス事業として運営している。事業対象児は就学児の6歳から18歳で、1日の定員は10名。武蔵野市の方針として、利用要件は主に身体障害児および医療的ケアが必要な児童で、かつ保護者が就労している児童が優先となっている。定員枠に空きがある場合に医療的ケアまたは保護者の就労がない身体障害児の受け入れを行っている。

令和6年度は保護者の就労無しの児童1名を新たに受け入れた。

年度末での退所2名(高校卒業に伴う退所1名、体調不良による退所1名)。

2 利用児の状況と活動内容

(1) 年齢別利用児数

(令和7年3月31日現在 単位:人)

	小学低学年生	小学高学年生	中学生	高校生	合 計
男児	4	2	4	1	11
女児	1	4	5	1	11
合計	5	6	9	2	22
内、車いす通所	1	1	6	2	10

(2) 通所実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
予定	209	198	187	209	204	174	200	182	184	172	165	187	2,271
実績	164	159	136	153	161	127	158	127	138	130	120	140	1,713
利用率	78.5%	80.3%	72.7%	73.2%	78.9%	73.0%	79.0%	69.8%	75.0%	75.6%	72.7%	74.9%	75.3%
日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243

(3) 提供時間及び活動内容

【サービス提供時間】

- ・学校終了後：14:30～18:00
- ・学校休業日(振り替え休業日・春休み・夏休み・冬休み)：9:30～17:00

【活動内容】

- ・個別支援計画に沿って、遊びや活動を通して、基本的生活動作の練習や社会性の向上などの発達支援を行った。
- ・自立支援と日常生活の充実のための活動として、基本的日常生活動作の獲得や上達のため職員の支援を受けながら自分でできること、支援を受けながら行えることを確認してきた。一人でできた時や協力動作があった時には、本人とできたことを共有していくことで達成感や自己肯定感が味わえるよう配慮している。
- ・創作活動では、自然を感じられる様に積極的に外出する機会を設けた。職員からの季節を

感じられる言葉かけをしたり、植ええや水やり等の植物を育てる体験（台風の影響で種の収穫は中止）を行ったりした。また季節に合わせて年中行事等を行っている。

- ・地域との交流の機会として、桜堤児童館のスタッフとやり取りの上で、児童館活動への利用児の参加や見学を行った。また、地域団体「iki なまちかど保健室みゅうちゅある」利用者による手話ソング披露や、手話挑戦などで利用者同士の交流を行った。
- ・余暇の提供では、児童の興味のある遊びを考えて提供してきた。その中で、好きな遊びを他児や職員と行ったり、個人だけでなく複数で活動する時間を設けたりと、興味の幅を広げながら放課後の時間を楽しく過ごせる場になるよう設定して、支援に努めた。
- ・保護者同士の交流を目的とした保護者会を初開催。7名の参加があった。

3 地域関連機関や団体との連携

- (1) 教育委員会と大野田小のスクールバス送迎の調整
- (2) 送迎ルート調整や対象児の相乗り等を含めたりニエプラッツ武蔵野との打ち合わせ
- (3) 武蔵野市学童保育指導員派遣研修受け入れ(4日間で6名)
- (4) みどりのこども館通園部ウィズ、相談部ハビットとの応援体制、医療的ケア児打ち合わせ
- (5) 社会福祉士実習生(3名)
- (6) 介護体験(4名)
- (7) 武蔵野東学園高等専修学校インターンシップ(1名)
- (8) 武蔵野市放課後等デイサービス事業所連絡会参加
- (9) 武蔵野市子育て支援ネットワーク実務者連絡会議参加

4 職員研修

- (1) 事業所研修…熱中症予防研修(伝達研修)、気管カニューレ使用児の対応(伝達研修)、児童の外傷等に関する対応(伝達研修)、子どもの権利条約、びーと公開セミナー～服薬に関する事について～(伝達研修)、びーと主催研修～親亡き後について～(伝達研修)
- (2) 法人研修…情報セキュリティ研修、感染症対策研修、中堅職員研修、実践発表会、虐待防止研修、上級救命講習
- (3) 外部研修…児童発達支援管理責任者実践研修

5 苦情受付件数 1件

6 人権擁護虐待等受付件数 0件

21 特別養護老人ホームゆとりえ（ショートステイ含む）

1 事業運営

令和6年度は特別養護老人ホーム(以下、特養ホームという)の利用率は微増だったが、ショートステイの利用率は微減。ショートステイの利用率については入院や他施設への入所等でキャンセルが続くことが原因として挙げられる。令和5年度は年間の退所者は11名だったが、令和6年度は8名で全員が施設での看取りとなった。重度の待機者の減少、医療を希望される方の増加等が要因となり新入居までに時間がかかることが続いている。

これまで新型コロナウイルス感染予防のため、直接利用者と接するボランティアや実習生等の受け入れを中止していたが、令和6年度からはボランティアの受け入れを再開させた。面会の制限も解除し、敬老会や新年会のような家族を交えたイベントも実施。新年会のむさしの囃子の再開は5年ぶりとなり、初めて参加される入居者・ご家族が増えていた。

複数人の入居者・職員が新型コロナウイルスに感染した。発生直後から施設内でゾーニングを行い、感染者を隔離しながら対応した。

2 利用者の状況と支援・活動内容

(1) 利用実績

① 利用人数（特養定員30名、ショートステイ2名+空ベッド）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
特養入居者(人)	804	837	851	881	849	813	868	840	851	855	772	867	10,088
ショートステイ(人)	119	80	62	68	88	77	46	64	61	99	63	46	873

② 入退所

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
退所(人)	1	1	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	8
うち看取り(人)	1	1	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	8
入所(人)	1	1	2	0	0	2	0	0	1	1	2	0	10

③ 介護度状況

要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
延べ人数(人)	0	0	452	3,977	5,659	10,088	4.52
割合(%)	0	0	4.4	39.5	56.1	100	
ショートステイ(人)	81	221	224	215	132	873	3.11

④ 年齢構成（令和7年3月31日現在）

年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計	平均年齢
男性(人)	0	1	4	1	0	6	84.8歳
女性(人)	0	1	9	12	1	23	89.5歳
合計(人)	0	2	13	13	1	29	88.5歳

⑤入所希望待機者（令和7年3月31日現在）

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
入所希望人数（人）	1	6	86	90	49	232	3.77
割合（%）	0.4	2.5	37.0	38.5	21.6	100	

3 利用者の状況（令和7年3月31日現在）

(1)排泄介助

自立者	1人	昼夜トイレ介助	9人
昼夜オムツ交換（排便時トイレ介助）	6人	日中トイレ介助・夜間オムツ交換	13人

(2)食事介助

①摂取状況

自立者	13人	見守り・声掛け・一部介助	8人
経管栄養（胃ろう）	2人	全介助	6人

②食事形態

普通食	3人	刻み	6人
一口大	4人	ペースト・一部ペースト	13人

③補助食品

高栄養ドリンク	1人	トロミ剤使用	18人
高栄養デザート	1人	粉飴使用	7人

(3)入浴介助

個別浴槽（自立・一部介助等）	0人	個別浴槽（電動リフト使用）	20人
機械浴槽	9人		

(4)医療・看護ケア（延べ人数）

①医療的ケア

経管栄養（胃瘻）	2人	痰の吸引	3人
バルーンカテーテル（膀胱洗浄）	0人		

②通院（健診や家族対応含む、往診は含まず）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
通院件数（件）	4	6	4	16	7	5	6	8	9	6	9	7	87
救急搬送（件）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3

③入院

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入院者数（延）	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	2	2	6

④夜間オンコール件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
オンコール数	0	2	2	2	0	0	0	0	1	3	2	1	13
夜間臨時出勤	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

⑤歯科診療

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
協力歯科(人)	7	8	6	8	5	4	6	6	5	5	6	6	72
歯科診療(件)	13	12	15	15	16	12	18	13	14	13	19	20	180

4 主な行事

5/6～8	菖蒲湯	6/1	家族懇談会
7/7	七夕行事	8/18	盆法要
8/25	すいか割り	9/14	御神輿来所
9/15	敬老会・家族懇談会	12/25	クリスマスランチ
12/18～12/21	柚子湯	12月～1月	年末年始
1/12	新年会・家族懇談会	2/2	豆まきの会

※中止（ハンカチの木バザー、福祉の輪、工作活動、お茶会、近隣学校保育園交流等）

※敬老会・新年会のご家族を招いて実施。

5 ご家族面会

新型コロナウイルス感染予防のため面会を制限していたが、制限を解除。サロンや居室内等、面会スペース以外での面会も可能とした。

6 職員研修

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内部研修(人)	2	2	34	17	18	3	36	33	37	17	21	10	126
外部研修(人)	0	0	1	1	1	1	2	0	0	1	2	2	36

※研修内容内訳：新規採用職員研修、医務研修、情報セキュリティ研修、安全管理研修、ハラスメント研修、感染予防（ガウンテクニック、初動対応、吐物処理）、身体拘束適正化、虐待防止、看取りケア、褥瘡防止、排泄、3年目職員研修、認知症介護基礎研修、痰の吸引、介護支援専門員研修、上級救命

7 苦情受付件数 1件

8 人権擁護虐待等受付件数 0件

22 ゆとりえデイサービスセンター

1 事業運営

令和6年度はコロナウイルスの感染対策を更に緩和し、消毒回数を減らし、利用者同士の交流の機会などを増やした。

活動では麻雀やおやつを作る会、ゲーム大会などを再開し、利用者の満足度と新規利用者へのアピール材料として行った。また、利用者の少ない日は手厚い活動として趣味活動以外のスポーツゲームやテーブルゲームなどを提供し、満足度向上に努めている。他の活動では近隣の2つの保育園との室内での直接交流を継続したり、昨年度と同様に地域のコーラスグループの発表会を行った。

その他通常のプログラムに加え、敬老会、新年会、イベント食や近隣散歩、お花見ドライブを実施している。

ドライバー職員が1名退職し、送迎業務に施設長や他セクションの職員が対応した。今年度も職員の体調不良が多く、少人数での対応をする期間が幾度か発生している。

また、特養部門への職員派遣を10月より月に3日～6日程度行ったり、介護助手職員を週に1～2回派遣している。

見学者や問い合わせは夏以降に増えており、登録者数は一時期減少することがあったが、後期に微増している。利用回数が増加しており、日々の曜日の登録者は増加している。

各曜日の登録者数(令和7年3月31日現在)は月曜26名、火曜18名、水曜21名、木曜22名、金曜27名となっている。

利用者の特徴としては、昨年度同様医療対応の方は少ないが登録者の約7割に認知症などの症状が見られる。また、何かしらの支援が必要な方が8割以上在籍されている。個別対応が必要な方は少しずつ増加しており、1日の中で多い曜日は4～5名程度となっている。

2 デイサービス利用者の状況と支援・活動内容

(1) 利用実績

① 利用人数 (9:00～16:30 定員30名)

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ要介護者(人)	382	417	340	375	343	356	403	386	352	318	344	402	4,418
延べ介護予防(人)	13	14	12	11	13	11	12	14	12	12	16	15	155
稼働率(%)	59.8	62.5	58.7	55.9	53.9	58.3	60.1	63.5	60.7	55.0	60.0	63.8	59.4
実人数(人)	40	41	38	40	39	41	47	48	48	45	46	45	

② 介護度別利用延べ人数

要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
割合(%)	14.3	44.1	28.6	6.7	6.3		
延べ人数(人)	631	1,940	1,260	296	276	4,403	2.4
介護予防	要支援1	要支援2	総合事業	合計			
延べ人数(人)	49	106	0	155			
割合(%)	31.6	68.4	0				

③年齢構成（令和7年3月31日現在）

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計	平均年齢
男性（人）	0	1	5	4	1	11	89.2
女性（人）	0	2	23	14	3	42	90.8
合計（人）	0	3	28	18	4	53	90

④入浴利用者数

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ入浴者数（人）	56	65	43	57	46	50	64	57	50	41	51	70	650

⑤給食

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ提供数（食）	395	431	352	386	356	367	415	400	364	330	360	417	4,573

⑥送迎

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ利用数（人）	364	388	309	344	336	347	396	387	349	321	351	397	4,289

⑦医療処置

処置内容	延べ人数
在宅酸素	0人

*介護教室、施設ボランティア懇談会、地域ボランティア懇談会は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため未実施。

(2) サービス提供内容

①週間スケジュール

曜日	月	火	水	木	金
午前	○健康チェック（血圧、脈拍、顔色など） ○朝のつどい ○口腔体操 ○体操（スウェーデン体操、音楽体操） ○うた（水曜日 ボランティア） ○排泄ケア ○入浴				
昼食	○食事介助 ○服薬 ○口腔ケア ○排泄ケア				
午後	手芸 アートクラブ 麻雀 カラオケ 移動美容室 （偶数月） 個別対応 個別機能訓練	絵手紙 カラオケ 書道 個別対応	みどりの会 カラオケ 個別対応	手芸 カラオケ お話の会 麻雀 個別対応	コーラス 手芸 唱歌の会 染物 個別対応 個別機能訓練

*カラオケはマイクを使用再開。麻雀活動再開。

書道の指導ボランティアを利用者ご家族へ依頼し、活動している。

②主な行事

行事・活動名	期 日	内 容
花見ドライブ	3/24～3/31	市内の桜の名所をドライブと近隣散歩
長寿を祝う会	9/12、13	楽器演奏やマジックショー、祝膳で楽しむ
新年会	1/15～17	楽器演奏や福引大会、祝膳を楽しむ
コンサート	46回	音楽クラブ24回・うたクラブ25回 地域のコーラスグループ1回
近隣学校との交流	随時	近隣保育園発表・交流、三中よりお花の鉢寄付

「食」に関する活動	随時	イベント食(10回)	おやつの会(4回)
その他		移動美容室(6回)	

3 武蔵野市受託事業

(1) 配食（おせち含む）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用数（食）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 会食型食事サービス（ゆとりえキッチン）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数（日）	4	4	4	4	4	4	2	5	4	3	4	3	45
利用者数（人）	16	12	12	14	13	10	4	12	10	8	8	6	125
テイクアウト（食）	11	16	12	12	9	4	8	11	5	0	0	4	92

*テイクアウトはゆとりえ独自サービス

(3) 家族介護支援プログラム（家族懇談会）

①暮らしの保健室 mini（個別、グループによる医療・介護等相談の場）

利用月	4	6	8	10	12	2	合計
参加者数（人）	6	9	8	8	6	7	44
相談者数（人）	1	4	0	1	0	1	7

*東部福祉の会、吉祥寺東コミュニティ協議会、本宿コミュニティ協議会、市民社協、ゆとりえによる実行委員会で開催。東コミセン、本宿コミセンで交互開催。

②ゆとりえオンライン家族介護者グループ相談会

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地域貢献事業

(1) 食事の提供

①もったいない食堂ちょこっと応援弁当（特養・デイ事業）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用数（食）	8	13	12	0	0	0	0	0	0	0	3	0	36

*毎週水曜日昼食テイクアウト弁当 200 円 10 食限定。武蔵野市子ども・コミュニティ食堂ネットワーク参加事業。

②ゆとりえ独自配食（特養・デイ事業）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用数（食）	141	150	142	180	166	138	147	132	121	116	114	111	1,658

*月曜日～金曜日（祝日あり）昼食テイクアウト弁当 500 円。市配食と併せて 1 日 15 食限定。

5 地域関連機関や団体との連携

(1) 実習生受入（特養・デイ・支援での延べ人数）

武蔵野第三中職場体験学習	中止	杏林大学・看護学生実習	0 人
社会福祉士現場実習	3 人	教員介護等体験実習	0 人
その他	0 人	合計	3 人

(2) ボランティア活動

① ボランティア活動実績（特養・デイ共通）

① 特別養護老人ホームでの活動		
洗濯物たたみ	414 人	
整容	21 人	
食事下膳	236	
余暇活動、他（お茶会、クラブ活動、行事参加、傾聴、歌、他）		小計 671 人
② デイサービスセンターでの活動		
フロア活動（配下膳、話し相手等）	388 人	
趣味活動等（プログラム活動講師・助手、補助等）	327 人	
コンサート、小学生、保育園児、他	27 人	小計 742 人
③ その他の部門での活動		
植栽、庭水まき	95 人	
配食配達	0 人	
事務連絡会、バザー他	56 人	小計 151 人
		合計 1,564 人

*ハンカチの木バザーは中止

② ボランティアポイント（ポイント数）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
シニア支え合い	10	6	6	0	3	6	6	2	0	0	0	8	47
ゆとりえポイント	304	76	76	83	76	71	83	90	99	105	92	76	1,231

*シニア支え合いポイントは市の受託事業。ゆとりえボランティアポイントは独自サービス。

5 職員研修

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加件数（件）	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	4

*研修内容内訳：デイ情報交換会（意見交換会）、デイサービス稼働率アップセミナー
ハラスメント対策とストレスケア、虐待防止研修

6 苦情受付件数 0 件

7 人権擁護虐待等受付件数 0 件

23 ゆとりえ在宅介護・地域包括支援センター

1 事業運営

武蔵野市の東部地域(吉祥寺南町・吉祥寺東町・御殿山1丁目)の高齢者総合相談窓口として、各種介護支援サービスの情報提供・総合調整、権利擁護、地域支援等の高齢者福祉サービスの事業を24時間365日行った。

介護予防の取組では、ゆとりえ・宮本小路公園・御殿山吉祥寺教会でのラジオ体操が定例化し、ゆとりえの圏域で延べ548名の地域住民が参加した。また、宮本小路公園のラジオ体操は、地域住民が主体の活動に発展した。

個別ケア会議から、いきいきサロンやにこにこサロン参加へのサポートを行い、孤立防止、社会参加へつなげることができた。また、武蔵野市と共催の圏域イベントで健康チェックとエクササイズを行い、参加者からも好評であった。参加者の中には、継続的に活動することを望まれ、ボクシングケア倶楽部への参加者が増加、身体的フレイル予防を強化することができた。

御殿山1丁目では、「災害につよい地域づくり」をテーマにエリア別地域ケア会議を開催。災害時トイレの利用方法等、体験型スタイルが好評でシリーズ化の提案を受けた。高齢者支援課・健康課と共同し、防災食、災害時に必要な栄養と口腔ケアの講座を実施。講座を通じて、日頃からのつながりの大切さ、連携の必要性を確認することができた。御殿山コミュニティ協議会からは「ゆとりえ見学ツアー」の依頼があり開催し、ゆとりえの機能を理解してもらうことができた。

個別相談支援の特徴としては、身寄りがなく独居、精神疾患や認知症により家族の関わりが希薄な方の支援について、地域住民や民生委員、警察等と連携し調整を行うことが増えた。介護保険等の制度につながらないケースが多く、断続的にアプローチを続けるが、結果的に緊急訪問や安否確認を行うケースが多かった。

2 相談の状況と支援・活動内容

(1) 相談実績

① 延べ相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数(件)	275	264	284	336	324	300	302	281	272	321	298	286	3,543

② 相談実人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(人)	215	211	234	280	265	244	258	233	236	262	252	224	2,914

③ 実態把握件数(訪問+支援方針会議)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数(件)	139	145	135	167	143	142	148	109	113	141	144	117	1,643

④ 認定調査件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
更新調査件数	37	42	44	56	64	48	53	42	50	40	50	55	581
新規同行件数	72						69						141

⑤ ケアプラン作成数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護給付(件)	10	10	8	12	12	9	10	6	6	5	7	7	102
総合事業(件)	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	9

(2) 地域包括支援センター事業の報告

①虐待防止(虐待対応件数) : 9件 *重複あり

身体的: 6件	経済的: 0件	心理的: 6件	性的: 0件	介護放棄 0件
---------	---------	---------	--------	---------

②権利擁護等対応件数: 11件 *重複あり

成年後見制度関連: 14件	消費者被害: 0件	困難事例: 21件
---------------	-----------	-----------

③地域連携等件数 : 570件

地域連携会議: 103件	介護予防啓発: 163件	他機関との連携: 304件
--------------	--------------	---------------

④ケアマネ支援件数 : 301件

個別の相談: 109件	同行訪問: 162件	担当者会議へ出席: 30件
-------------	------------	---------------

*地域包括3職種以外の職員も専門的な相談を受け、随時対応を行っている。

(3) 認知症相談

開催日	5/1	8/7	11/6	2/5	合計
件数(件)	3	4	2	1	10件

*対面で行った。年4回場所を提供し、職員が相談に立ち会う。

3 地域関連機関や団体との連携

(1) 家族介護教室

①ほほえみサロン(認知症カフェと同日開催講演会)

開催日	5/25	9/28	1/25	合計
テーマ	熱中症対策講座	後悔しないための 介護施設の選び方	もっとみんなで 語り合おう、 認知症の事	
開催場所	ゆとりえ	ゆとりえ	ゆとりえ	
参加人数	19人	32人	27人	

②認知症カフェ(カフェ♥君の名は)

開催日	5/25	7/27	9/28	11/23	1/25	3/22	合計
参加人数(人)	21人	23人	39人	27人	27人	39人	176人

*ゆとりえデイルームにて南町福祉の会と共催。

(2) 地区別ケース検討会(11回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加人数(人)	24	21	24	20	休会	21	17	19	18	19	19	18	220人

*毎月1回、在支・包括が主催するケアマネジャー参加の勉強会。

(3) 地域ケア会議（エリア別 1 回・個別 3 回）

	エリア別	個別			合計
開催日	9/27	7/19	1/10	2/21	
参加人数（人）	25 人	10 人	8 人	8 人	51 人

(4) 認知症講座

① 認知症サポーター養成講座

開催日	1/29	合計
開催場所	武蔵野商工会館	
参加団体	一般市民	
参加人数	10 人	10 人

② 認知症ステップアップ講座

7/12	8/31	11/12	12/9
商工会館	スイングホール	武蔵野市役所	武蔵野市役所
21 人	悪天候により中止	都合により欠席	13 人

(5) 民生児童委員との定例会（2 回）

開催日	7/17（1 回目）	2/10（2 回目）	合計
人数	20 人	20 人	40 人

(6) 地域連携に関わる講座

開催日	7/8	8/5	9/9	3/14	合計
開催場所	東町個人宅	東町個人宅	東町個人宅	御殿山コミセン	
参加団体	地域住民	地域住民	地域住民	地域住民	
テーマ	こころとからだ を整えよう	こころとからだ を整えよう	こころとからだ を整えよう	防災について （体験型講座）	
参加人数	3 人	8 人	7 人	12 人	

4 支え合いの仕組みづくり・介護予防

(1) いきいきサロン事業（2 か所）

サロン名	サロン開催時間	サロン事業内容	開設年度
吉祥寺ささえ あいビレッジ	毎週金曜日 9：00～10：30	体操、うた、トーンチャイム、ハン ドベル、手話ソング	H27 年度
公園口サロン	毎週火曜日 9：30～12：30	体操、卓球	H27 年度

(2) ラジオ体操

① ゆとりえラジオ体操 ＊第 2 火曜日と第 4 木曜日に開催。（祝日は休み、雨天中止）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
第1回	雨	11	7	12	12	13	雨	10	11	9	祝	8	93 人
第2回	9	7	7	10	9	14	6	6	10	7	6	22	113 人
参加人数合計	9	18	14	22	21	27	6	16	21	16	6	30	206 人

②公園ラジオ体操 *宮本小路公園にて第2、第4金曜日に開催。ゆとりえは参加した時のみ記入。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
第1回	19	20	20	雨	12	13	13	14	15	15	欠	19	160 人
第2回	29	20	雨	9	8	欠	9	10	12	13	16	6	132 人
参加人数合計	48	40	20	9	20	13	22	24	27	28	16	25	292 人

③御殿山ラジオ体操 *御殿山吉祥寺教会の中庭にて第1、第3金曜日に開催。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
第1回	4	祝	10	7	4	9	雨	6	8	祝	8	5	61 人
第2回	9	10	6	7	雨	9	5	雨	5	17	4	7	79 人
参加人数合計	13	10	16	14	4	18	5	6	13	17	12	12	140 人

(3)いきいき健康地域プロジェクト 楽しく！元気に！長生き！（圏域事業）

日付	2/13	合計
開催場所	吉祥寺南町コミセン第1会議室	
参加団体	りす（LIS）、明治安田生命、武蔵野市高齢者支援課、ゆとりえ	
テーマ	介護予防講座 自分を知ろう！ 健康チェックとエクササイズ	
参加人数	13 人	13 人

5 職員研修

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加件数（件）	3	0	3	4	2	1	0	2	2	3	9	4	33 件

*研修内容内訳：地域包括職員向け・ケアマネジャー更新・認知症コーディネーター関連・生活支援コーディネーター関連・権利擁護・高齢者虐待防止・市内在宅介護・地域包括支援センター対応力向上など

6 苦情受付件数 1 件

7 人権擁護虐待等受付件数 0 件

8 その他（課題）

- ① 御殿山吉祥寺教会でのラジオ体操の参加者数が減少傾向にある。新たな参加者の獲得のため、各地域で実施するラジオ体操の周知方法について工夫が必要。
- ② 本人や家族が精神疾患等の場合、障害者福祉課や、多機関と連携の必要があるケースが増加している。円滑な連携方法について検討が必要。

24 R E N G A収益事業

1 事業運営について

令和2年度末で、重度身体障害者グループホームR E N G Aをグループホームの再編により事業転換し、令和3年11月より収益事業を開始した。市内の社会福祉法人に建物を貸すことで、木造2階のレンガ作り風の建物はこれまで通り福祉事業を継続し、地域福祉に寄与することとした。

令和6年度は著しく劣化し雨漏りの恐れが出てきた屋根を全面修理した。近隣とも友好的に関係を深め、事業を継続することができた。得られた収益は、将来の修繕等にかかる費用に充てるため、修繕費積立金として積み立てた。なお、建物賃借人の事業継続の意思を確認し、今年度末で土地オーナーとの土地の賃貸借契約が終了であったが、事業定期借地権契約を10年間で更新した。

2 事業概要

- | | | |
|------------|---|--|
| (1) 建物概要 | 建物名称 | R E N G A |
| | 所在地 | 武蔵野市八幡町3-3-26 |
| | 構 造 | 木造2階建て |
| | 床面積 | 284.76㎡ |
| (2) 事業内容 | 1階 | 放課後等デイサービス事業 10名（定員／1日）
（第2種社会福祉事業） |
| | 2階 | ガイドヘルパー派遣事業（移動支援、同行援護）
（第2種社会福祉事業） |
| (3) 建物賃貸期間 | 令和3年11月1日～2年毎に更新 | |
| (4) 賃 借 料 | 550,000円（月額） | |
| (5) 賃 借 人 | 社会福祉法人おおぞら会 | |
| (6) 事業サポート | ① 定期的な設備メンテナンス（電気設備点検、消防設備点検）
② 建物維持のための修繕工事等の検討、確認
③ 近隣住民等と良好な関係が築けるようサポート | |



R E N G A外観